

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3	学科	商業科	類型	共通			
教科	国語	科目	論理国語		単位	2	必修 選択	必修
使用教科書	「新編論理国語」（東京書籍）		補助教材等	「新編論理国語 学習課題ノート」（東京書籍）				
科目の目標	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
観点別評価	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	重点	○		◎		○		
	評価 規 準	・実社会で求められる漢字や語彙などの知識や技能を適切に身に付けている。 ・論理的な文章を読み書きするための表現技法や慣用表現などを適切に理解できている。		・言葉を適切に用いて論理的、批判的に考え、創造的に考えて表現することができる。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。		・言葉がもつ価値を認識し、生涯にわたって読書に親しもうとする態度がある。 ・我が国の言語文化の担い手としての自覚があり、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度をもっている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第1学期 中間 考查まで	1. 読む「最初のペンギン」 ○ 考える楽しみ② 「真の価値」を求めて …不確実な時代の中で人間と生物が「つながっている」認識を文章から読み取り、自らも「真の価値」を考え続ける。				知識 技能	定期考查等 課題やレポート 振り返りシート等		
					思考 判断 表現	定期考查等 授業での活動 課題やレポート 振り返りシート等		
主体的に 学習に取 組む態度	振り返りシート等 課題やレポート 授業での活動							
	第1学期 期末 考查まで	2. 読む「物語の外から」 ○ 言葉の扉③ 紛らわしい漢字 形が似ている漢字の区別や、同じ漢字の読みの違いを捉える …「質問する力」として、情報、意味、論証を問いかけることを意識して質問を考える。 ○ 書く①「短い論文を書いて読み合おう」 … 資料を読んで内容を理解する。 自分の考えをまとめて論文を書く。 書いた論文について意見を交換する。 交換した意見を踏まえて論文を書き直す。				知識 ・ 技能	定期考查等 課題やレポート 振り返りシート等	
思考 判断 表現						課題やレポート 授業での活動 作品や課題		
	主体的に 学習に取 組む態度	振り返りシート等 課題やレポート 授業での活動						
第1学期		観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	○		◎		○			
	評価 規 準	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。		・「読むこと」において、文章の論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から理解できている。		・資料の内容を的確に捉え、理解した内容をもとに積極的に自分の意見を考えようとしている。		

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	3. 読む「ロボットが隣人になるとき」 ○ 論理の力② 論証する力 本文の論証について任意の箇所を選び、反論を考える … 根拠の適切さと導出の適切さに注意して望ましい議論を行い理解を深める。 4. 「言葉は『ものの名前』ではない」 ○ 論理の力② 論証する力…筆者が言語についてのどのような考え方に対して反対しているのかまとめる。			知識 技能	定期考查等
					課題やレポート
					振り返りシート等
				思考 判断 表現	定期考查等
					授業での活動
					課題やレポート
主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等				
	課題やレポート				
	授業での活動				
第2学期 期末 考查まで	5. 「もう一つの知性」 ○ 論理の力② 論証する力 「この小学生がお母さんより知的な人間とはいえない」といえる根拠をまとめる。 ○ 書く②「資料を活用して論述しよう」 … 設定されたテーマについて関連する資料を厚めて考察し、意見をまとめて論述する。			知識・ 技能	定期考查等
					課題やレポート
					振り返りシート等
				思考 判断 表現	定期考查等
					授業での活動
					課題やレポート
主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等				
	課題やレポート				
	授業での活動				
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ○	思考・判断・表現 ◎	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・実生活に必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。	・資料の内容を的確に捉え、理解した内容をもとに積極的に自分の意見を考えようとしている。	
学年末 考查まで	6. 「ホンモノのおカネの作り方」 ○ 論理の力③ 要約する力 文中の「3段落を二百字程度で要約する。 ○言語活動 経済の仕組みについて他教科で学んだことを整理して、本文の内容と関連づけて話し合う。			知識 技能	定期考查等
					課題やレポート
					振り返りシート等
				思考 判断 表現	定期考查等
					授業での活動
					課題やレポート
主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等				
	課題やレポート				
	授業での活動				
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ○	思考・判断・表現 ◎	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・豊かな実生活に必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。	・「ホンモノのおカネ」について、文章の筆者の立場に基づく考えを、学習課題に沿って進んで理解し、作り方について自分の考えをまとめようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3 年	学科	商業科	類型	総合系			
教科	国語	科目	国語演習		単位	2	必修 選択	選択
使用教科書				補助教材等				
科目の目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
観点別評価		観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		重点	◎	○		○		
		評価規準	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって言語的な自己表現に親しんで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第 1 学期中間 考査まで	【表現】 ・自己PRのスピーチをする ・自己PR文を書く ・原稿用紙の使い方、推敲 伝わりやすい表現				知識 技能	課題やノート		
						小テスト等		
					思考 判断 表現	授業での活動		
						振り返りシート等		
第 1 学期期 末考査まで	【表現】 ・志望理由を書く ・推敲する 【表現】 ・高校生活の思い出を書く ・推敲する				知識 ・ 技能	定期考査等		
						課題やノート		
						小テスト等		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						授業での活動		
						振り返りシート等		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		◎	○		○			
	評価 規 準	・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「書くこと」において、読みの共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。		・自分や他の生徒の発表を通じて、傾聴や身体表現などを進んで自ら体験し、学習課題に沿って表現が伝わったときの喜びを理解しようとしている。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間考査まで	【表現】 ・ 母校を紹介する(作文) ・ 小論文を書く①（具体例を根拠にしよう）			知識 技能	課題やノート
					小テスト等
				思考 判断 表現	授業での活動
					振り返りシート等
				主体的に 学習に取り 組む態度	課題やノート
					授業での活動
					振り返りシート等
第2学期 期末考査まで	【表現】 ・ 小論文を書く②（反論を想定して書こう） ・ 推敲、伝わりやすい表現			知識 ・ 技能	定期考査等
					課題やノート
					小テスト等
				思考 判断 表現	定期考査等
					授業での活動
					振り返りシート等
				主体的に 学習に取り 組む態度	課題やノート
					授業での活動
					振り返りシート等
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。	・「書くこと」において、読みの同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して、論理の展開を考えるなど、文章の展開や構成を工夫している。	分かりやすい説明に必要なことを粘り強く理解しようとし、学習課題に沿って、言葉選びや言葉遣い、情報の整理などの観点から、説明の仕方を改善しようとしている。	
学年末 考査まで	【問題演習】 ・ 国語常識問題 【表現】 ・ 手紙を書く			知識 技能	課題やノート
					小テスト等
				思考 判断 表現	授業での活動
					振り返りシート等
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動
					振り返りシート等
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。	自分を表現する活動を通じて、相手に共感をもって聞いたり読んだりしてもらうために必要なことを粘り強く理解し、今までの学習を生かして表現を改善しようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3 年	学科	商業科	類型	共通			
教科	地理歴史	科目	地理総合		単位	2	必修 選択	必修
使用教科書		「高等学校新地理総合」 (帝国書院) 「新詳高等地図」 (帝国書院)		補助教材等	「CONNECT 地理総合」 (第一学習社) 「高等学校新地理総合ノート」 (帝国書院)			
科目の目標		社会的事象の地理的な見方・考え方・を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。						
観点別評価		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		重点	◎	○	○			
		評価 規 準	・地理に関する諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地球的課題への取組などを理解している。 ・地図や諸資料から様々な情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付けている。	・地理に関わる事象に関して、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察している。 ・地理的な課題の解決に向けて考察、構想したことを効果的に表現している。	・地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・日本国民としての自覚を涵養し、世界の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚を深めようとしている。			
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)				観点別評価			
第 1 学期 中間 考 査 ま で		第 1 部 地図でとらえる現代世界 第 1 章 地図と地理情報システム ・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 ・身の回りの地図や現代世界の地理情報について、その情報を読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける 第 2 章 結び付きを深める現代世界 ・現代世界の地域構成について、日本の位置や領域などの学習を踏まえ、貿易や通信などの国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。			知識 技能	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
振り返りシート等								
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	第 2 部 国際理解と国際協力 第 1 章 生活文化の多様性と国際理解 1 世界の地形と人々の生活 2 世界の気候と人々の生活 ・世界の人々の生活文化についてその生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し表現する。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。			知識・ 技能	定期考査等			
					課題やレポート			
					授業での活動			
				思考 判断 表現	定期考査等			
					課題やレポート			
					授業での活動			
振り返りシート等								
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		◎	○	○				
	評価 規 準	・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことを理解している。	・世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因など多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本の位置や領域をめぐる問題について、主体的に追究し関心を深めている。 ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。				

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	3 世界の言語・宗教と人々の生活 4 歴史的背景と人々の生活 5 世界の産業と人々の生活 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 ・言語・宗教・歴史などの生活文化の学習を基に、社会や集団の形成について理解するとともに、国際社会での日本の位置や世界の生活文化の多様性を考察し、表現する。	知識 技能		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		思考 判断 表現		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		主体的に 学習に取り 組む態度		振り返りシート等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
第2学期 期末 考查まで	第2章 地球的課題と国際協力 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題 人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の現状を理解するとともに、各国の取組や国際協力の必要性について理解する。 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題 人口問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、その要因や解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	知識 ・ 技能		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		思考 判断 表現		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		主体的に 学習に取り 組む態度		振り返りシート等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・産業の発展や変化、地域差について理解している。 ・世界各地でみられる環境問題や人口問題などを基に、地球的課題の傾向性について大観し理解している。	・産業の発展とその課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、現状や要因、解決の方向性について多面的に考察している。	・地球的課題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
学年 末 考查まで	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 ・地形や気候など日本の自然環境について理解するとともに自然災害の要因や規模、地域性などを踏まえた備えや対応の重要性を理解する。 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 第2章 生活圏の調査と地域の展望 ・生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解する。	知識 技能		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		思考 判断 表現		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		主体的に 学習に取り 組む態度		振り返りシート等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 ・ハザードマップや地形図を読み取り、情報を収集し、まとめる技能を身に付けている。	・地域性を踏まえた防災について、自然条件や社会条件との関わりなどに着目して、自然災害への備えや対応などを多面的に考察し、表現している。	・自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3 年	学科	商業科	類型	共通				
教科	数学	科目	数学演習			単位	2	必修 選択	必修
使用教科書				補助教材等	新編 実用数学セミナー (浜島書店)				
科目の目標		問題解決の過程を振り返って、既習事項の確認を行うとともに、条件から立式し正確に解法を導く計算力や思考力を養う。							
観点別評価		観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		重点	◎		○		○		
		評価 規 準	数学において、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		数学において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたりしようとする態度を養おうとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）					観点別評価			
						観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 ま で	・式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。 ・不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。					知識 技能	定期考査等		
							課題やレポート		
						思考 判断 表現	定期考査等		
							課題やレポート		
主体的に 学習に 取り組む 態度	課題やレポート								
	授業での活動								
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	・2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察し、2次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。					知識 ・ 技能	定期考査等		
							課題やレポート		
						思考 判断 表現	定期考査等		
							課題やレポート		
主体的に 学習に 取り組む 態度	課題やレポート								
	授業での活動								
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		◎		○		○			
	評価 規 準	・数学の基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解している。 ・基礎的な知識・技能を身につけている。		・事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。		・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第 2 学期 中間 考查まで	- 図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力を培う。 - データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを養う。			知識 技能	定期考查等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考查等
					課題やレポート
				主体的に 学習に取り 組む態度	課題やレポート
					授業での活動
第 2 学期 期末 考查まで	- 場合の数を求めるときの基本的な考え方、確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 - 平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 - さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて考察できるような力を培う。			知識 ・ 技能	定期考查等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考查等
					課題やレポート
				主体的に 学習に取り 組む態度	課題やレポート
					授業での活動
第 2 学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・数学の基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解している。 ・基礎的な知識・技能を身につけている。	・事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。	
学年 末 考查まで	総合問題を解くことで、論理的思考力や問題解決力、数学的な推論力を身につける。			知識 技能	定期考查等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考查等
					課題やレポート
				主体的に 学習に取り 組む態度	課題やレポート
					授業での活動
第 3 学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・数学の基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解している。 ・基礎的な知識・技能を身につけている。	・事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3 年	学科	商業科	類型	共通											
教科	保健体育	科目	体育			単位	2	必修 選択	必修							
使用教科書		現代高等学校保健体育 (大修館書店)		補助教材等	アクティブスポーツ (大修館書店)											
科目の目標		運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに挑戦するために、運動の多様性や体力の必要性を理解し、技能を身につけるようにするとともに、課題を発見し、合理的・計画的な解決のために他者に伝える力を養う。また、運動における競争や協働の経験を通して公正・協力・責任・参画・共生などに対する意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。														
観点別評価		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度											
		重点	◎	○	○											
		評価 規 準	・運動の多様性や体力の必要性を理解している。 ・必要となる技能を身につけている。	・課題を発見し、合理的・計画的な解決のために他者に伝える力を身につけている。	・運動における競争や協働の経験を通して公正・協力・責任・参画・共生などに対する意欲を身につけている。 ・健康・安全を確保して生涯にわたって継続して運動に親しもうとしている。											
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価											
				観 点	評価の手段											
第 1 学期 中間 考 査 ま で	体づくり運動 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方を理解し、実生活に役立てること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、体づくり運動に主体的に取り組むことを通して、協力、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。 陸上競技 ・多様な楽しさと喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、各種目特融の技能を身につけること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝え、主体的に取り組み、公正、責任、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。				知識 技能	授業での活動										
						実技テスト等 課題やレポート 振り返りシート等										
					思考 判断 表現	授業での活動 課題やレポート 振り返りシート等 実技テスト等										
						主体的に 学習に取 組む態度	実技テスト等 課題やレポート 授業での活動 振り返りシート等									
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	陸上競技 ・技の名称や行い方などを理解するとともに、各種目特融の技能を身につけること、陸上競技に主体的に取り組むことを通して、公正、責任、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。 球技 ア. ゴール型：サッカー イ. ネット型：バレーボール ウ. ベースボール型：ソフトボール ・技術の名称や行い方を理解し、仲間と連携しゲームを展開すること、球技に主体的に取り組むことを通して、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。 体育理論 ①生涯スポーツの見方・考え方：ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を説明できる。 ②ライフスタイルに応じたスポーツ：「現在の自分のスポーツライフの諸条件を整理し、今後の豊かな設計のための諸条件や工夫のしかたの例をあげられる。				知識・ 技能		授業での活動 実技テスト等 課題やレポート 実技テスト等									
						思考 判断 表現	作品や課題 課題やレポート 授業での活動 振り返りシート等									
							主体的に 学習に取 組む態度	実技テスト等 課題やレポート 授業での活動 振り返りシート等								
									観点別 評価	知識・技能	◎	思考・判断・表現	○	主体的に学習に取り組む態度	○	
					第 1 学期	評価 規 準		・体力の構成要素、実生活への取り入れ方、役立て方を理解している。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方などを理解している。 ・各種目特有の技能を身につけている。		・生涯にわたり運動を豊かに継続するため、自己や仲間の課題解決に向け取り組みを工夫している。 ・自己や仲間の考えを他者に伝えることができる。		・各運動に主体的に取り組み、互いに助け合い、高め合おうとしている。 ・勝敗を冷静に受け止め、ルールやマナーを守り、フェアプレーを大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保しようとしている。				

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第 2 学期 中間 考查まで	球技 ア.ゴール型：フットサル、バスケットボール イ.ネット型：バレーボール、テニス ウ.ベースボール型：ソフトボール ・勝敗を競ったりすることを通して得られる楽しさや喜びに加えて、「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝え、公正・協力・責任・参画・共生などの意欲を育み、健康・安全を確保できる。	知識 技能			授業での活動
					実技テスト等
					課題やレポート
					振り返りシート等
		思考 判断 表現			授業での活動
					課題やレポート
					振り返りシート等
					実技テスト等
		主体的に 学習に取り 組む態度			実技テスト等
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
第 2 学期 期末 考查まで	球技 ア.ゴール型：フットサル、バスケットボール イ.ネット型：バレーボール、卓球 ・勝敗を競ったりすることを通して得られる楽しさや喜びに加えて、「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝え、公正・協力・責任・参画・共生などの意欲を育み、健康・安全を確保できる。 体育理論 ③スポーツを推進する取り組み：国内でスポーツを推進してきた従来の取り組みを説明できる。	知識 ・ 技能			授業での活動
					実技テスト等
					課題やレポート
					振り返りシート等
		思考 判断 表現			作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度			実技テスト等
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
第 2 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	評価 規 準	◎	○	○	
学 年 末 考 査 ま で	球技 ア.ゴール型：ユニホック、バスケットボール イ.ネット型：バドミントン、卓球 ・勝敗を競ったりすることを通して得られる楽しさや喜びに加えて、「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝え、公正・協力・責任・参画・共生などの意欲を育み、健康・安全を確保できる。 体育理論 ⑤豊かなスポーツライフの創造 ・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について例をあげて説明できる。	知識 技能			授業での活動
					実技テスト等
					課題やレポート
					振り返りシート等
		思考 判断 表現			作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度			実技テスト等
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
第 3 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	評価 規 準	◎	○	○	
学 年 末 考 査 ま で	球技 ア.ゴール型：ユニホック、バスケットボール イ.ネット型：バドミントン、卓球 ・勝敗を競ったりすることを通して得られる楽しさや喜びに加えて、「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝え、公正・協力・責任・参画・共生などの意欲を育み、健康・安全を確保できる。 体育理論 ⑤豊かなスポーツライフの創造 ・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について例をあげて説明できる。	知識 技能			授業での活動
					実技テスト等
					課題やレポート
					振り返りシート等
		思考 判断 表現			作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度			実技テスト等
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
第 3 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	評価 規 準	◎	○	○	
学 年 末 考 査 ま で	球技 ア.ゴール型：ユニホック、バスケットボール イ.ネット型：バドミントン、卓球 ・勝敗を競ったりすることを通して得られる楽しさや喜びに加えて、「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝え、公正・協力・責任・参画・共生などの意欲を育み、健康・安全を確保できる。 体育理論 ⑤豊かなスポーツライフの創造 ・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について例をあげて説明できる。	知識 技能			授業での活動
					実技テスト等
					課題やレポート
					振り返りシート等
		思考 判断 表現			作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度			実技テスト等
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
第 3 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	評価 規 準	◎	○	○	
学 年 末 考 査 ま で	球技 ア.ゴール型：ユニホック、バスケットボール イ.ネット型：バドミントン、卓球 ・勝敗を競ったりすることを通して得られる楽しさや喜びに加えて、「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝え、公正・協力・責任・参画・共生などの意欲を育み、健康・安全を確保できる。 体育理論 ⑤豊かなスポーツライフの創造 ・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について例をあげて説明できる。	知識 技能			授業での活動
					実技テスト等
					課題やレポート
					振り返りシート等
		思考 判断 表現			作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度			実技テスト等
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
第 3 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	評価 規 準	◎	○	○	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3 年	学科	商業科	類型	会計系・情報系・経済系				
教科	芸術	科目	音楽表現			単位	2	必修 選択	選択
使用教科書				補助教材等					
科目の目標		曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができ、主体的・協働的に音楽活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する真珠を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにさせる。							
観点別評価		観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		重点	○		◎		○		
		評価規準	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。		個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができる。		主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしようとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価				
					観 点	評価の手段			
第 1 学期 中間 考查まで	・おすすめのプレイリストを作ろう 自身がおすすめるアーティストの良さを知ってもらうためのプレイリストを作る。 ・歌唱 「花の街」 日本語の美しさを感じ取りながら、言葉の意味を理解して表現する。				知識 技能	作品や課題			
						振り返りシート等			
						実技テスト等			
					思考 判断 表現	作品や課題			
						振り返りシート等			
						実技テスト等			
第 1 学期 期末 考查まで	・歌唱 「北秋の」 歌詞の意味や歌詞と旋律から情景を思い浮かべて表現して歌う。 ・創作 コード進行を理解して、伴奏をつけて発表する。				知識 ・ 技能	作品や課題			
						授業での活動			
						実技テスト等			
					思考 判断 表現	作品や課題			
						授業での活動			
						実技テスト等			
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		○		◎		○			
	評価 規 準	・おすすめする曲について音楽的な視点を持ち音楽理論を用いて良さを理解している。 ・歌詞の意味を理解して、曲にふさわしい言葉の発音ができている。 ・コード進行について理解している。		・自身が感じる曲の良さを他者へ伝えるために、客観的に曲を評価し最適な表現を考えている。 ・歌詞の意味や情景を思い浮かべながら表現しようとしている。 ・コードを使って伴奏を考えたり、表現しようとしている。		・アーティストの魅力を知ってもらうために積極的に調べるなど活動を行っている。 ・歌唱や創作活動に主体的に創作活動に取り組んでいる。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	・ 器楽 「リコーダーアンサンブル」 演奏方法や技能を身に付け、奏法によって音色や響きが違いが生み出されることを理解する。また自身のメロディーを演奏しながらハーモニーを聴き、音楽の良さや美しさを感じる。 ・ 歌唱 「ふるさとの空」 曲想と歌詞や文化的背景、郷土の伝統音楽を理解して、音楽の美しさを感じて歌う。	知識 技能		実技テスト等	
				振り返りシート等	
				授業での活動	
		思考 判断 表現		実技テスト等	
				振り返りシート等	
				授業での活動	
		主体的に 学習に取り 組む態度		実技テスト等	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第2学期 期末 考查まで	・ 鑑賞 「交響曲第9番 合唱付き」 作曲家について知り、曲が作られた背景について理解する。また実際にCDのオーケストラを伴奏として歌唱してみる。 ・ 創作 コード進行を応用して、メロディーやそのメロディーに対して伴奏を作り、理解を深める。	知識 ・ 技能		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
		思考 判断 表現		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第2学期	観点別 評価	知識・技能 ○	思考・判断・表現 ◎	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・ 作曲者や曲が作られた背景について理解して歌唱している。 ・ 読譜の方法やリコーダーの奏法について理解している。 ・ 曲想と音楽の構造の関わりを理解している。 ・ コード進行について理解し	・ 歌詞の意味を考え、伝わるように歌唱している。 ・ 曲に対する評価やその根拠を考えている。 ・ コードを使ってメロディーや伴奏を考えたり、表現しようとしている。	・ 歌唱活動に取り組んだり、歌詞の意味を考えたり、リコーダーを演奏したりする活動、また鑑賞活動、創作活動に主体的に取り組もうとしている。	
学年 末 考查まで	・ 歌唱 「上を向いて歩こう」、「蛍の光」 「上を向いて歩こう」では、どのように歌いたいのか、どんな演奏方法で演奏するのか、自ら考え、他者と創意工夫をしながらアンサンブルを楽しむ。「蛍の光」が「蛍雪の功」のことわざを由来にしていることについて理解し、歌詞の意味を自ら考えながら理解する。また、卒業式での歌唱に挑む。	知識 技能		授業での活動	
				振り返りシート等	
		思考 判断 表現		授業での活動	
				振り返りシート等	
				実技テスト等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		授業での活動	
				振り返りシート等	
第3学期	観点別 評価	知識・技能 ○	思考・判断・表現 ◎	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・ 「上を向いて歩こう」の歌詞や文化的背景を理解している。 ・ 「蛍の光」の歌について理解している。	・ 音楽表現を創意工夫して、他者とのアンサンブルを通して、表現している。 ・ 「蛍の光」の歌詞の意味について自らの力で考えている。	・ 歌詞の意味を考えたり歌うことを主体的に取り組もうとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3 年	学科	商業科	類型	会計系・情報系・経済系			
教科	芸術	科目	美術表現		単位	2	必修 選択	選択
使用教科書				補助教材等				
科目の目標		対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めさせ、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えさせ、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。						
観点別評価		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		重点	○	◎	○			
		評価 規 準	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。			
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
				観 点	評価の手段			
第 1 学期 中間 考査まで	【表現・鑑賞】デザイン アドデザイン ・架空の会社や団体などを想定し、その事業や商品などの中吊り広告を制作する。 ・広告に必要な要素とそのデザインについて考え、効果的な広告表現ができるようになる。				知識 技能	作品や課題		
						振り返りシート等		
						授業での活動		
					思考 判断 表現	作品や課題		
						振り返りシート等		
						課題やレポート		
					主体的に 学習に 取り組む 態度	振り返りシート等		
課題やレポート								
授業での活動								
作品や課題								
第 1 学期 期末 考査まで	【表現・鑑賞】美術探究 ・美術史や、美術に関するキーワードから美術の役割について考察し、自分の考えを表現する。 ・日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから伝統や文化の価値を感じ取り、国際理解に果たす美術の役割や美術文化の継承、発展、創造することの意義について考え、見方や感じ方を深めることができるようになる。				知識 ・ 技能	課題やレポート		
						振り返りシート等		
						授業での活動		
					思考 判断 表現	課題やレポート		
						振り返りシート等		
						授業での活動		
					主体的に 学習に 取り組む 態度	振り返りシート等		
課題やレポート								
授業での活動								
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		○	◎	○				
	評価 規 準	・造形の要素の働きを理解している。 ・主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができる。	・目的や条件などを基に、デザインの社会的な役割について考察して独創的な主題を生成し、主題に応じた表現効果を考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練ることができる。	・主体的にデザインの創造活動に取り組もうとしている。				

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第 2 学期 中間 考査まで	【表現・鑑賞】デザイン 交通安全啓発デザイン ・ PowerPointを用いて交通安全を啓発する缶バッジの図柄をデザインする。 ・ 視認性とメッセージ伝達性の高いグラフィックデザインができるようになる。			知識 技能	作品や課題
					振り返りシート等
					授業での活動
				思考 判断 表現	作品や課題
					振り返りシート等
					課題やレポート
				主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等
					課題やレポート
					授業での活動
第 2 学期 期末 考査まで	【表現・鑑賞】映像メディア表現 アニメーション制作 ・ 2 学期前半で制作した作品をもとに、図柄が動くアニメーションを制作する。 ・ PowerPointを用いて映像メディア表現の特性を生かした創造的な表現のアニメーション動画が制作できるようになる。			知識 ・ 技能	作品や課題
					振り返りシート等
					授業での活動
				思考 判断 表現	作品や課題
					振り返りシート等
					課題やレポート
				主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等
					課題やレポート
					授業での活動
第 2 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		○	◎	○	
	評価 規 準	・ 造形の要素の働きを理解している。 ・ 主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができる。	・ 映像メディアの特性を生かして独創的な主題を生成し、主題に応じた表現の可能性や効果について考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練ることができる。	・ 主体的にデザインおよび映像メディア表現の創造活動に取り組もうとしている。	
学年 末 考査まで	【表現・鑑賞】テーマ別探究活動 ・ 生徒が興味・関心に沿って自らテーマを設定し、調査・探究活動を行う。			知識 技能	課題やレポート
					授業での活動
				思考 判断 表現	課題やレポート
					振り返りシート等
					授業での活動
				主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等
					課題やレポート
					授業での活動
第 3 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		○	◎	○	
	評価 規 準	・ 設定したテーマに関する作品や事例等について理解している。 ・ 適切な情報を発見する技能を身につけている。	・ 設定したテーマに関する作品や事例等について、見方や感じ方を深めている。	・ 主体的に設定したテーマについての調査・探究活動に取り組もうとしている。	

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3 年	学科	商業科	類型	共通			
教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位	2	必修 選択	必修	
使用教科書		「All Aboard! English CommunicationⅡ」 (東京書籍)		補助教材等				
科目の目標		日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、 ・必要な情報を読んだり聞いたりして、文章や話の展開、書き手や話し手の意図を把握することができるようにする。 ・学んだ語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りができるようにする。 ・学んだ語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えたり、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。						
観点別評価		観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		重点	◎	○		○		
		評価 規 準	・英文を読んだり聞いたりして、文章や話の展開、書き手や話し手の意図を把握することができる知識を身に付けている。 ・学んだ語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話したり書いたりする技能を身に付けている。	・英文を読んだり聞いたりして、文章や話の展開、書き手や話し手の意図を把握している。 ・学んだ語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話したり書いたりしてペアでのやりとりをしている。		・英文を読んだり聞いたりして、文章や話の展開、書き手や話し手の意図を把握しようとしている。 ・学んだ語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話したり書いたりしてペアでのやりとりをしようとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価				
第 1 学期 中間 考 査 ま で		Reading1 Mujina 日本の民話、怪談を英語で読み、日本の伝統文化について学ぶ。会話文で使われる表現方法などについて学ぶ。 Lesson 6 Seeds for Future Generations 海外の高校生に向けた、伝統野菜についてのグループ発表を通して、伝統の継続について考える。動詞の目的語になるif節について学習する。 地元で有名な場所やものについて紹介するポスターを作成し、英語で伝え合う。		知識 技能	定期考査等			
					実技テスト等			
					振り返りシート等			
				思考 判断 表現	定期考査等			
実技テスト等								
課題やレポート								
主体的に 学習に 組 む 態 度	実技テスト等							
	作品や課題							
	振り返りシート等							
第 1 学期 期 末 考 査 ま で		Lesson 7 Over the Wall 世界中で壁画を描く活動についての話を通して、世界の人々と交流する方法について学習する。関係副詞：where, whenについて学習する。世界の人々と交流する方法について調べたり考えたことを、英語で述べる。 Lesson 8 Inspiration from Nature 生物模倣についてのオンライン講演の授業を通して、自然界のデザインをヒントに開発された製品について学習する。知覚動詞の使い方について学習する。自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で紹介記事を作成し、伝え合う。		知識 ・ 技能	定期考査等			
					実技テスト等			
					振り返りシート等			
				思考 判断 表現	定期考査等			
実技テスト等								
課題やレポート								
主体的に 学習に 組 む 態 度	実技テスト等							
	作品や課題							
	振り返りシート等							
第 2 学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	評価 規 準	◎	○		○			
		・学んだことをもとに、様々な話題についての英文を読み、英文の概要を捉える知識を身に付けている。 ・情報や考えなどを話して伝える技能を身につけている。	・学んだことをもとに、様々な話題についての英文を読み、英文の概要を捉えている。 ・学んだ語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話して伝えている。		・学んだことをもとに、様々な話題についての英文を読み、英文の概要を捉えようとしている。 ・学んだ語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話して伝えようとしている。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第 2 学期 中間 考 査 まで	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate チョコレートをめぐる現実を取り上げた雑誌記事を通して、カカオ農園の実態と児童労働及びその解決策について学習する。使役動詞の使い方について学ぶ。社会的な問題について、事実を整理して、英語で感想・意見を述べるができる。 Lesson 9で学んだことをもとに書かれたエッセイを参考にして、興味をもっている社会問題について、英語でエッセイを書く。			知識 技能	定期考査等
					実技テスト等
					振り返りシート等
				思考 判断 表現	定期考査等
					実技テスト等
					課題やレポート
				主体的に 学習に取り 組む態度	実技テスト等
					作品や課題
					振り返りシート等
第 2 学期 期末 考 査 まで	Lesson 10 Fighting Angel 医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯について学習する。分詞構文の使い方について学習する。人を助ける職業について、調べた事柄を整理・理解し、英語で説明できるようにする。			知識 ・ 技能	定期考査等
					実技テスト等
					振り返りシート等
				思考 判断 表現	定期考査等
					実技テスト等
					課題やレポート
				主体的に 学習に取り 組む態度	実技テスト等
					作品や課題
					振り返りシート等
第 2 学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・学んだことをもとに、様々な話題についての英文を読み、英文の概要を捉える知識を身に付けている。 ・情報や考えなどを話して伝える技能を身に付けている。	・学んだことをもとに、様々な話題についての英文を読み、英文の概要を捉えている。 ・学んだ語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話して伝えている。	・学んだことをもとに、様々な話題についての英文を読み、英文の概要を捉えようとしている。 ・学んだ語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話して伝えようとしている。	
学 年 末 考 査 まで	Reading 2 Bear's Pie 「アメリカで、ある小さなレストランを営む夫婦には、10年前に家を出た息子がいた」という内容の朗読劇の結末を自分たちで考え、登場人物の気持ちを考えながら朗読劇を演じて発表しあう。			知識 技能	定期考査等
					実技テスト等
					振り返りシート等
				思考 判断 表現	定期考査等
					実技テスト等
					課題やレポート
				主体的に 学習に取り 組む態度	実技テスト等
					作品や課題
					振り返りシート等
第 3 学期	観点別 評価	知識・技能 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・学んだことをもとに、様々な話題についての英文を読み、英文の概要を捉える知識を身に付けている。 ・情報や考えなどを話して伝える技能を身に付けている。	・学んだことをもとに、様々な話題についての英文を読み、英文の概要を捉えている。 ・学んだ語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話して伝えている。	・学んだことをもとに、様々な話題についての英文を読み、英文の概要を捉えようとしている。 ・学んだ語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを話して伝えようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3年	学科	商業科	類型	総合系			
教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ		単位	2	必修 選択	選択
使用教科書		MY WAY Logic and Expression Ⅱ (三省堂)		補助教材等	MY WAY 総合英語（三省堂）			
科目の目標		言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。						
観点別評価		観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		重点	◎	○	○			
		評価 規 準	・情報や考え、気持ちなどを伝え合うために必要となる語彙や表現、概念、音声等を理解している。 ・日常生活や社会的な話題について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解している。	・聞いたり、読んだりした英文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 ・相手を意識して、日常生活や社会的な話題について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、多様な語句や文を用いて詳しく伝えあっている。	・聞いたり、読んだりした英文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えようとしている。 ・相手を意識して、日常生活や社会的な話題について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、多様な語句や文を用いて詳しく伝えようとしている。			
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
				観 点	評価の手段			
第1学期 中間 考査 まで	Lesson 1 I Love My Country これまでの経験や自分才好きな場所について、完了形や未来形などを用いて、即興で事実を尋ねたり、自分の気持ちを詳しく伝えたりする。昨年の思い出と今年の計画について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、詳しく伝えあう。 Lesson 2 The New Waves of Sports 週末の予定や最新のものなどについて、助動詞や不定詞表現などを用いて、事実や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う。スポーツ大会の会場への道順について、施設や生き方を説明する表現などを用いて、情報を即興で伝えあう。				知識 技能	定期考査等		
						授業での活動		
						課題やレポート		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動							
	実技テスト等							
	作品や課題							
	振り返りシート等							
第1学期 期末 考査 まで	Lesson 3 The Future of Technology 印象深い授業について、受動態や不定詞表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちを即興で詳しく伝え合う。世界の国々の特徴について、説明表現などを用いて、情報を整理し、詳しく伝えあう。 Lesson 4 Rediscover Kabuki 日本文化について、知覚動詞、使役動詞を用いて、情報や自分の考え、気持ちを即興で伝え合う。選んだ小話について身振りなど面白く聞こえる工夫をしながら演じる				知識・ 技能	定期考査等		
						授業での活動		
						課題やレポート		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動							
	実技テスト等							
	作品や課題							
	振り返りシート等							
第1学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		◎	○	○				
	評価 規 準	・情報や考え、気持ちなどを伝え合うために必要となる語彙や表現、概念、音声等を理解している。 ・身近な話題について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解している。	・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 ・相手を意識して、身近な話題について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、多様な語句や文を用いて詳しく伝えあっている。	・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 ・相手を意識して、身近な話題について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、多様な語句や文を用いて詳しく伝えようとしている。				

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	Lesson 5 Will Our Lives Change with AI? 科学技術や将来の社会状況について、動名詞や分詞構文表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちを即興で詳しく伝え合う。アンケート結果を報告するための情報や自分の考えを整理し、発表する。 Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife 世界や日本で有名な場所などについて、比較表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちを詳しく伝え合う。ホテルでのトラブルについて、その解決策を表す表現を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝えあう。	知識 技能		定期検査等	
				授業での活動	
				課題やレポート	
		思考 判断 表現		定期検査等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		主体的に 学習に取り 組む態度		授業での活動	
				実技テスト等	
				作品や課題	
第2学期 期末 考查まで	Lesson 7 Can We Go and Live on Mars? 火星に関することについて、関係詞表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合う。「無人島に何を持っていくか」というテーマについて、自分の意見や主張を理由とともに詳しく伝えあう。 Lesson 8 Language and Society 外国に関連することについて、仮定法表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しくを伝え合う。社会的な話題について、賛成・反対の意見を論理構成や展開を工夫して詳しく伝える。	知識 ・ 技能		定期検査等	
				授業での活動	
				課題やレポート	
		思考 判断 表現		定期検査等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		主体的に 学習に取り 組む態度		授業での活動	
				実技テスト等	
				作品や課題	
第2学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
		・情報や考え、気持ちなどを伝え合うために必要となる語彙や表現、概念、音声等を理解している。 ・社会的な事象について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解している。	・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 ・相手を意識して、社会的な事象について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、多様な語句や文を用いて詳しく伝えあっている。	・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 ・相手を意識して、社会的な事象について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、多様な語句や文を用いて詳しく伝えようとしている。	
学年 末 考查まで	Lesson 9 Send Our Love to the World 世界の貧困問題について、代名詞表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちを即興で詳しく伝え合う。「食品廃棄を減らすためにできることは何か」について、自分の意見を述べるための表現などを用いて、情報や自分の考えを整理し、相手の意見に応じて論理構成や展開を工夫して詳しく伝えあう。	知識 技能		定期検査等	
				課題やレポート	
				振り返りシート等	
		思考 判断 表現		課題やレポート	
				定期検査等	
				授業での活動	
		主体的に 学習に取り 組む態度		振り返りシート等	
				授業での活動	
				課題やレポート	
第3学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
		・情報や考え、気持ちなどを伝え合うために必要となる語彙や表現、概念、音声等を理解している。 ・社会問題について情報や自分の考えを伝えるのに必要となる表現の意味や働きを理解している。	・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 ・相手を意識して、社会問題について、情報や自分の考えを整理し、論理の構成や展開を工夫しながら、多様な語句や文を用いて詳しく伝えあっている。	・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 ・読み手を意識して、社会問題について、情報や自分の考えを整理し、論理の構成や展開を工夫しながら、多様な語句や文を用いて詳しく伝えようとしている。	

※「◎」特に重視する観点



学年	3 年	学科	商業科	類型	共通				
教科	外国語	科目	英語演習			単位	2	必修 選択	選択
使用教科書				補助教材等	Move Up Basic 全商英語検定試験問題				
科目の目標		文章読解と表現のために必要な基本的な能力を身につけ、場面や目的、状況に応じて適切に活用する力と、様々な課題に主体的に関わりようとする態度を養う。 ①説明や物語を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえる。 ②情報や考えについて要点を整理し、簡潔に書く。 ③課題について調べ、考察し、英語で論理的にプレゼンテーションする。							
観点別評価		観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		重点	◎		○		○		
		評価 規 準	・情報や考え、気持ちなどを伝え合うために必要となる語彙や表現、概念、音声等を理解している。 ・身近な話題について、情報や自分の考えや気持ちなどを話して伝えあったり、書いたりする技能を身につけている。		・聞いたり、読んだりした英文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 ・相手に理解してもらえるように、身近な話題について、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えている。		・聞いたり、読んだりした英文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えようとしている。 ・相手に理解してもらえるように、身近な話題について、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えようとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）					観点別評価			
						観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 ま で	【課題研究と英作文】 ・グループを作り、グループ毎に研究テーマを決める。そのテーマについて現地調査、アンケート、実験、講師や専門家の話を聞く等をし、研究する。 【全商英検の小テストとワークシート】 ・文章読解と表現のために必要な基本的な能力を身につけるため、全商英検2級程度の英単語小テストを毎時間行う。英単語学習は基本的に個人学習になるが、その際英単語を書いたり、声に出したり、ペアワークで問題を出し合ったりして、できるだけ刺激を多くする。 ・テキストを使い、説明文や物語文を読み、情報や考えなどを理解したり概要や要点をとらえる。					知識 技能	定期考査等		
							授業での活動		
							課題やレポート		
						思考 判断 表現	定期考査等		
							授業での活動		
							課題やレポート		
						主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動		
							実技テスト等		
							作品や課題 振り返りシート等		
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	【課題研究と英作文】 ・課題について調べてまとめた結果を基に、課題設定の理由、仮説、調査内容、自分の考えを論理的にかつ簡潔に英語で書く。 【全商英検の小テストとテキスト】 ・文章読解と表現のために必要な基本的な能力を身につけるため、全商英検2級程度の英単語小テストを毎時間行う。 ・説明や物語を読んで、情報や考えなどを理解したり概要や要点をとらえるため、テキストを使い、Listening・Speakingに関する項目について習得する。					知識 ・ 技能	定期考査等		
							授業での活動		
							課題やレポート		
						思考 判断 表現	定期考査等		
							授業での活動		
							課題やレポート		
						主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動		
							実技テスト等		
							作品や課題 振り返りシート等		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		◎		○		○			
	評価 規 準	・情報や考え、気持ちなどを伝え合うために必要となる語彙や表現、概念、音声等を理解している。 ・自分自身のことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを話して伝えあったり、書いたりする技能を身につけている。		・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 ・相手に理解してもらえるように、自分自身のことについて、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えている。		・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えようとしている。 ・相手に理解してもらえるように、自分自身のことについて、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えようとしている。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価					
				観 点	評価の手段				
第2学期 中間 考査まで	【課題研究と英語プレゼンテーション作成】 ・課題について英語で調べたことをGoogle SLIDEを利用して論理的なプレゼンテーションを作る。 【全商英検の小テストと教科書】 ・文章読解と表現のために必要な基本的な能力を身につけるため、全商英検2級程度の英単語小テストを毎時間行う。 ・説明や物語を読んで、情報や考えなどを理解したり概要や要点をとらえるため、テキストを使い、Listening・Speakingに関する項目について習得する。			知識 技能	定期考査等				
					授業での活動				
					課題やレポート				
				思考 判断 表現	定期考査等				
					授業での活動				
					課題やレポート				
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動				
					実技テスト等				
					作品や課題 振り返りシート等				
				第2学期 期末 考査まで	【課題研究まとめおよび、プレゼンテーションの練習】 ・課題について英語で調べたことをGoogle SLIDEにまとめ、英文スクリプトを完成させる。英文スクリプトはできるだけ暗記し、メモを見ながらアイコンタクトやジェスチャーを交えた効果的なプレゼンテーションができるように練習する。 【全商英検の小テストと教科書】 ・文章読解と表現のために必要な基本的な能力を身につけるため、全商英検2級程度の英単語小テストを毎時間行う。 ・説明や物語を読んで、情報や考えなどを理解したり概要や要点をとらえるため、テキストを使い、Readingに関する項目について習得する。			知識・ 技能	定期考査等
									授業での活動
									課題やレポート
思考 判断 表現	定期考査等								
	授業での活動								
	課題やレポート								
主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動								
	実技テスト等								
	作品や課題 振り返りシート等								
第2学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○					○	
	評価 規 準	・情報や考え、気持ちなどを伝え合うために必要となる語彙や表現、概念、音声等を理解している。 ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを話して伝えあったり、書いたりする技能を身につけている。	・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 ・相手に理解してもらえるように、日常的な話題について、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えている。					・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えようとしている。 ・相手に理解してもらえるように、日常的な話題について、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えようとしている。	
学年 末 考査まで	【課題研究プレゼンテーション発表と評価】 ・課題について英語で調べたことをGoogle SLIDEにまとめ、アイコンタクトやジェスチャーを交えた効果的なプレゼンテーションを英語でする。また、教師だけでなく、生徒相互でも評価を行い、質疑応答を行う。 【全商英検の小テストと教科書】 ・文章読解と表現のために必要な基本的な能力を身につけるため、全商英検2級程度の英単語小テストを毎時間行う。 ・説明や物語を読んで、情報や考えなどを理解したり概要や要点をとらえるため、テキストを使い、Writingに関する項目について習得する。			知識 技能	定期考査等				
					授業での活動				
					課題やレポート				
				思考 判断 表現	定期考査等				
					授業での活動				
					課題やレポート				
				主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等				
					授業での活動				
					課題やレポート 実技テスト等				
				第3学期	観点別 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
						◎	○	○	
					評価 規 準	・情報や考え、気持ちなどを伝え合うために必要となる語彙や表現、概念、音声等を理解している。 ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを話して伝えあったり、書いたりする技能を身につけている。	・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えている。 ・相手に理解してもらえるように、日常的な話題について、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えている。	・本文の概要、要点を整理し、必要な情報を捉えようとしている。 ・相手に理解してもらえるように、日常的な話題について、情報や自分の考えや気持ちを即興で伝え合ったり、整理して伝えようとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3 年	学科	商業科	類型	共通			
教科	家庭	科目	家庭総合		単位	2	必修 選択	必修
使用教科書		家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)		補助教材等	生活学Navi 資料+成分表（実教出版） とやまの高校生ライフプランガイド （富山県教育委員会） 学習ノート（東京書籍）			
科目の目標		生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。						
観点別評価		観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		重点	○		○		◎	
		評価 規 準	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。		生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。	
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
				観 点		評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 ま で	家庭総合を学ぶにあたって ー生活に生かそうーホームプロジェクト（HP）と学校家庭クラブ活動ー ・家庭クラブ活動の一日家事労働体験を通して、自立・労働について理解する。 ・ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 ・一日家事労働体験（GW中の課題）を通して、多様化する家族像・自立・労働などについて理解する。 第7章 衣生活をつくる 3被服を管理する,4被服を作る ・環境に配慮した衣生活などこれまで学習してきた被服の機能、素材と管理の知識を応用しながら目的に合った被服を製作する。 ・家庭経営の立場から家族の日常の衣生活に必要な被服に関する基礎的知識や技術を習得し、衣生活を計画的・合理的に営み、その充実向上を図る能力を伸長する。 第3章 子どもと共に育つ 5 これからの保育環境 ・子どもの発達と環境との関わりについて認識し、子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。				知識 技能	定期考査等		
						作品や課題 課題やレポート 授業での活動		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						作品や課題 課題やレポート 授業での活動		
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	第4章超高齢社会を共に生きる ・これからの超高齢社会の課題を理解し、高齢者の自立を支えるために、私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。 ・自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考えて実践しようとする。 第6章 食生活をつくる 4 生涯の健康を見通した食事計画、5 調理実習、6食生活の文化と知恵、 7これからの食生活 ・郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。配膳やマナーに関心を持つ。 ・世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への影響について理解する。 ・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康等食生活に関わる情報を適切に判断し広い視野で食生活について考える。 ホームプロジェクト ・ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解する。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。				知識・ 技能	定期考査等		
						実技テスト等 作品や課題 授業での活動		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						実技テスト等 作品や課題 振り返りシート等		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		◎		○		○		
		生活を主体的に営むために必要な保育、衣・食生活分野の基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。		保育、衣・食生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。		
	評価 規 準							

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第 2 学期 中間 考 査 まで	ホームプロジェクト発表 ・ホームプロジェクトの発表を通して、自分の考えを人にわかりやすく伝える方法を学ぶ。 第2章 人生をつくる 1 人生をつくる、2 家族・家庭を見つめる、3 これからの家庭生活と社会 ・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きや社会制度としての家族や家族と法律を理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解し、どのような社会を実現すればよいか考えて実践しようとする。 第6章 食生活をつくる 5 調理の基礎、調理実習 ・班員で協力して、安全かつ衛生的に調理実習を行うことができる。 ・家庭経営の立場から、家族の日常の食生活に必要な食物に関する基礎的知識や技術を習得させ、食生活を計画的・合理的に営み、その充実向上を図る能力を伸長する。 ・配膳やマナーに関心を持つ。 ・防災食を通じて、自助・共助・公助についての意識を高める。	知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	定期考査等
					作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
			知識 ・ 技能	思考 判断 表現	定期考査等
					作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
			主体的に 学習に取り 組む態度	主体的に 学習に取り 組む態度	作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
第 2 学期 期 末 考 査 まで	第6章 食生活をつくる 5調理の基礎 ・班員で協力して、安全かつ衛生的に調理実習を行うことができる。 ・SDGsの視点から献立作成をし、環境に配慮した消費者行動について理解する。 第8章 住生活をつくる 1住生活の変遷と住居の機能、2安全で快適な住生活の計画、3住生活の文化と知恵、4これからの住生活 ・生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために私たちの毎日の生活を支え生活拠点となる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。 ・自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適で健康で安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。 ・日本の住文化の継承・創造に寄与するために、気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。 ・持続可能な住居や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。	知識 ・ 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	定期考査等
					実技テスト等
					作品や課題
					授業での活動
			知識 ・ 技能	思考 判断 表現	定期考査等
					実技テスト等
					作品や課題
					授業での活動
			主体的に 学習に取り 組む態度	主体的に 学習に取り 組む態度	作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
学 年 末 考 査 まで	第10章 持続可能な生活を営む 第11章 これからの生活を創造する 1生活をデザインする ・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。 ・一人の主体者として、社会全体をよりよい方向に動かしていこうとする。 ・人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 ・これから持続可能な社会を構築していくために、何ができるか考えて実践しようとする。	知識 技能	思考 判断 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	定期考査等
					作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
			知識 ・ 技能	思考 判断 表現	定期考査等
					作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
			主体的に 学習に取り 組む態度	主体的に 学習に取り 組む態度	作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
第 3 学期	観点別 評価	知識・技能 ○	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ◎	定期考査等
					作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					定期考査等
					作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
第 3 学期	観点別 評価	知識・技能 ○	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ◎	定期考査等
					作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					定期考査等
					作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					作品や課題
					課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3 年	学科	商業科	類型	共通				
教科	商業	科目	課題研究			単位	2	必修 選択	必修
使用教科書				補助教材等					
科目の目標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。							
観点別評価		観点	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		重点	○		○		◎		
		評価 規 準	商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。		ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。		課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）					観点別評価			
						観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考查まで	1. オリエンテーション 2. 課題設定 ※ 3. 仮説の構築 ※ 下記の 3 つのテーマに沿って課題を設定し、課題解決を図る学習を行う。 テーマ 1 「経済・社会・商業に関する知識の研究及び上級学校進学対策」 テーマ 2 「エンドユーザコンピューティングに関する専門知識・技術の習得及び研究」 テーマ 3 「簿記会計及び商業実務に関する専門知識・技術の習得及び研究」					知識 技術	課題やレポート		
							授業での活動		
						思考 判断 表現	課題やレポート		
							授業での活動		
						主体的に 学習に 取り組む 態度	課題やレポート		
							授業での活動		
							振り返りシート等		
第 1 学期 期末 考查まで	4. 課題解決に向けた調査研究計画の立案 5. 調査研究① ・文献・事例調査 ・フィールドワーク（現地調査、実態調査） ・統計分析調査 ・アンケート調査 ・シミュレーション研究 6. 職業資格取得演習					知識 ・ 技術	課題やレポート		
							授業での活動		
						思考 判断 表現	課題やレポート		
							授業での活動		
						主体的に 学習に 取り組む 態度	課題やレポート		
							授業での活動		
							振り返りシート等		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		○		○		◎			
	評価 規 準	・生徒の興味・関心、進路希望等に応じて、グループで商業の各分野に関する適切な課題を設定することができる。		・調査内容を分析し、科学的な根拠に基づいて説明することができる。 ・情報を入手して活用し、評価・改善することができる。		・課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考査まで	(5. 調査研究①) (6. 職業資格取得演習) 7. 再仮設の設定 8. 調査研究② 調査研究①に加えて、 ・専門的知見の収集と調査研究内容の比較 ・調査研究内容の再構築	知識 技術		課題やレポート	授業での活動
		思考 判断 表現		課題やレポート	授業での活動
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	授業での活動
					振り返りシート等
第2学期 期末 考査まで	9. 調査研究レポートの作成 ・ソフトウェア操作 (Word) ・調査研究内容の構成 10. プレゼンテーション ・ソフトウェア操作 (PowerPoint、Googleスライド 等) ・プレゼンテーションの目的 ・効果的なプレゼンテーション 11. クラス内発表会 12. 課題研究発表会 (全体発表)	知識 ・ 技術		課題やレポート	授業での活動
					作品や課題
		思考 判断 表現		課題やレポート	授業での活動
					作品や課題
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	授業での活動
					振り返りシート等
					作品や課題
第2学期	観点別 評価	知識・技術 ○	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ◎	
	評価 規 準	・ビジネス活動におけるレポート作成の意義と目的を理解できる。 ・ビジネス活動におけるプレゼンテーションの意義と目的を理解できる。	・企業活動や公共サービスが社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、ビジネスに関する理論、データなど科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を身に付ける。	・課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
学年 末 考査まで	(6. 職業資格取得演習)	知識 技術		課題やレポート	授業での活動
		思考 判断 表現		課題やレポート	授業での活動
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	授業での活動
					振り返りシート等
第3学期	観点別 評価	知識・技術 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・職業資格を取得する意義や職業との関係について理解している。 ・職業資格を制度化している目的を理解している。	・自らの進路希望などに応じて適切な資格や検定に関する課題を設定できる。 ・専門家を目指した継続的な学習活動を行っている。	・課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、専門性の高い職業人になることを目指して、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準

／

学年	3 年	学科	商業科	類型	共通				
教科	商業	科目	総合実践			単位	3	必修 選択	必修
使用教科書				補助教材等	総合実践 [同時同業法を中心として]三訂版 (実教出版)				
科目の目標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。							
観点別評価	観点	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	重点	○		◎		○			
	評価規準	商業の各分野について実務に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。		ビジネスの実務における課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。		ビジネスの実務に対応する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）					観点別評価			
						観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 ま で	第 1 編 「総合実践」の基礎 第 1 章 「総合実践」の学習にあたって 1 オフィスの仕事と「総合実践」の学習 2 「総合実践」の学習目標と内容 3 「総合実践」の学習方法 4 「総合実践」の学習上の心得 第 2 章 応対の心得 1 応対の一般的心得 2 話しかたと言葉づかい 3 来客との応対 4 電話による応対					知識 技術	実技テスト等		
							授業での活動		
							振り返りシート等		
						思考 判断 表現	定期考査等		
							実技テスト等		
							課題やレポート		
						主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動		
							定期考査等		
							振り返りシート等		
						実技テスト等			
作品や課題									
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	第 3 章 文書の作成 1 事務における文書の重要性 2 事務用文書の役割と特質 3 文書作成の基本 4 通信文書の作成 5 取引に用いられる文書 6 帳票の発達とワンライティングシステム 第 4 章 代金の支払い 1 小切手による支払い 2 手形による支払い 3 振込による支払い					知識 ・ 技術	実技テスト等		
							授業での活動		
							振り返りシート等		
						思考 判断 表現	定期考査等		
							実技テスト等		
							課題やレポート		
						主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動		
							定期考査等		
							振り返りシート等		
						実技テスト等			
作品や課題									
第 1 学期	観点別 評価	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		◎		○		○			
	評価規準	・ビジネスにおける応対の心得について理解している。 ・文書作成に必要な知識や技術について理解している。 ・小切手や手形の振り出し方法や、代金の送金方法について理解している。		・乗客の応対や電話の応対など場面に応じて必要な応対方法について判断することができる。 ・取引に応じた必要な文書や代金の支払方法を理解し、必要に応じた文書作成を判断することができる。		・乗客の応対や電話の応対などの知識や技術を積極的に身に付けようとしている。 ・文書の作成方法や代金の支払方法について自ら学び、適切に活用し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考査 まで	第2編 基本取引 第1章 取引開始にあたって 1 取扱商品 2 流通経路 3 帳簿組織 4 勘定科目 5 企業の名称・所在地・取引銀行 6 各勘定残高 7 文書および商品の流れ 第2章 仕入取引 1 文書および商品の流れ 2 値段の問い合わせ 3 商品の発注 4 商品の受け取り 5 代金の支払い	知識 技術		実技テスト等	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				定期考査等	
		思考 判断 表現		実技テスト等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
				定期考査等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		振り返りシート等	
				実技テスト等	
				作品や課題	
第2学期 期 末 考査 まで	第3章 販売取引 1 文書および商品の流れ 2 値段の見積もり 3 商品の受注 4 商品の発送 5 代金の受け取り 第4章 取引のまとめ（会計処理） 1 諸経費の支払いなど 2 伝票の集計と転記 3 決算業務	知識・ 技術		実技テスト等	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				定期考査等	
		思考 判断 表現		実技テスト等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
				定期考査等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		振り返りシート等	
				実技テスト等	
				作品や課題	
第2学期	観点別 評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		○	◎	○	
		評価 規 準	・取引に必要な文書について理解している。 ・取引に必要な仕訳や帳簿への転記などの知識を身に付けている。		・取引に必要な文書について理解している。 ・取引に必要な仕訳や帳簿への転記などの知識を身に付けている。
学 年 末 考 査 ま で	第3編 取引演習 第1章 取引開始にあたって 1 取扱商品 2 流通経路 3 帳簿組織 4 勘定科目 5 企業の名称・所在地・取引銀行 6 演習上の注意 第2章 総合取引演習	知識 技術		実技テスト等	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				定期考査等	
		思考 判断 表現		実技テスト等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
				定期考査等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		振り返りシート等	
				実技テスト等	
				作品や課題	
第3学期	観点別 評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		○	◎	○	
		評価 規 準	・商品の流通経路について必要な知識を身に付けている。 ・各取引の内容を適切に帳簿に記入するための知識や技術を身に付けている。		・企業の取引の流れについて基本的な知識を理解し、各取引で必要となる代金の支払方法や帳簿への記入などができる知識や思考を身に付けている。

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3年	学科	商業科	類型	経済系			
教科	商業	科目	マーケティング		単位	3	必修 選択	選択
使用教科書		マーケティング (実教出版)		補助教材等	マーケティング準拠問題集 (実教出版)			
科目の目標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通じて、マーケティングに必要な資質・能力を育成することを目指す。						
観点別評価		観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		重点	◎	○	○			
		評価 規 準	・企業における事例など実際のマーケティングと関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つマーケティングに関する知識と技術を身に付けている。	・企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客についての理解、市場の動向、マーケティングに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して、組織の一員として自己の役割を認識して、企画と実施などに責任をもって取り組もうとしている。			
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
				観 点	評価の手段			
第1学期 中間 期末 考査 まで	第1章 マーケティングの概要 1. マーケティングの歴史と発展 2. 現代の市場とマーケティング 3. マーケティング環境の分析 4. マーケティング・マネジメント 現代市場の特徴を理解し、マーケティングの考え方や手順について学ぶ。 現代市場における消費者保護や環境問題、法令遵守、企業の社会的責任などの重要性について理解を深める。 第2章 消費者行動の理解 1. 消費者の心理と行動の関係 2. 購買意思決定過程 3. 消費者行動に影響を与える要因 マーケティング計画の立案に必要な消費者行動について学ぶ。 消費者の心理や購買意思決定までの過程、消費者行動に影響を与える要因について理解する。				知識 技術	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
振り返りシート等								
第1学期 期末 考査 まで	第3章 市場調査 1. 市場調査の概要 2. 市場調査の手順 3. 仮説検証の手順 4. 実態調査の方法 市場調査について理解し、関連する技術を学ぶ。 市場調査に関する課題を発見し、調査計画を立案して実施し、評価・改善するとともに、市場調査で得られた情報を科学的に分析する。 第4章 STP 1. セグメンテーション 2. ターゲティング 3. ポジショニング STP分析を理解し、関連する技術を学ぶ。 STP分析に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいてその解決方法を考える。				知識 ・ 技術	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
振り返りシート等								
第1学期	観点別 評価	知識・技術	◎	思考・判断・表現	○	主体的に学習に取り組む態度		
第1学期	評価 規 準	・現代市場におけるマーケティングの概要について理解している。 ・マーケティング計画の立案に必要な消費者行動について理解している。 ・市場調査について企業における事例と関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。		・マーケティングの意義と課題について、現代市場の特徴と関連付けて見いだしている。 ・購買意思決定までの過程について、消費者の心理と消費者行動に影響を与える要因を関連付けて見いだすことができる。 ・市場調査で得られた情報を科学的に分析することができる。		・現代市場におけるマーケティングについて自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ・市場調査について自ら学び、実習に主体的・協働的に取り組もうとしている。		

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）		観点別評価	
			観 点	評価の手段
第 2 学期 中間 考查まで	第 5 章 製品政策 1. 製品政策の概要 2. 新製品開発 3. 販売計画と生産計画 4. 製品政策の動向 製品政策について企業における事例と関連付けて理解する。 製品政策に関する課題を発見し，製品政策を立案して実施し、評価する。 製品政策について自ら学び，経済や消費者の動向などを踏まえ，主体的かつ協働的に取り組む。 第 6 章 価格政策 1. 価格政策の概要 2. 価格の設定方法 3. 価格政策の動向 価格政策について企業における事例と関連付けて理解する。 価格政策に関する課題を発見し，価格政策を立案して実施し、評価する。 価格政策について自ら学び，経済や消費者の動向などを踏まえ，主体的かつ協働的に取り組む。	知識 技術		定期考查等
				課題やレポート
				授業での活動
		思考 判断 表現		定期考查等
				課題やレポート
				授業での活動
				振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート
				授業での活動
				振り返りシート等
第 2 学期 期末 考查まで	第 7 章 チャネル政策 1. チャネル政策の概要 2. チャネルの選択と管理 3. チャネル政策の動向 チャネル政策について企業における事例と関連付けて理解する。 チャネル政策に関する課題を発見し，チャネル政策を立案して実施し，評価する。チャネル政策について自ら学び，経済や消費者の動向などを踏まえ，主体的かつ協働的に取り組む。 第 8 章 プロモーション政策 1. プロモーション政策の概要 2. プロモーションの種類 プロモーション政策について企業における事例と関連付けて理解する。 プロモーション政策に関する課題を発見し，プロモーション政策を立案して実施し，評価する。プロモーション政策について自ら学び，経済や消費者の動向などを踏まえ，主体的かつ協働的に取り組む。	知識・ 技術		定期考查等
				課題やレポート
				授業での活動
		思考 判断 表現		定期考查等
				課題やレポート
				授業での活動
				振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート
				授業での活動
				振り返りシート等
第 2 学期	観点別 評価	知識・技術 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○
	評価 規 準	・製品政策、価格政策、チャネル政策、プロモーション政策について企業における事例と関連付けて理解している。	・各政策に関する課題を発見し，それを踏まえ，科学的な根拠に基づいて，政策を立案して実施し，評価・改善している。	・各政策について自ら学び，経済や消費者の動向などを踏まえ，主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
学 年 末 考 査 ま で	第 8 章 プロモーション政策 3. プロモーション政策の動向 第 9 章 マーケティングのひろがり 1. さまざまなマーケティング戦略 2. サービス・マーケティング 3. 小売マーケティング 4. 観光地マーケティング 5. グローバル・マーケティング 6. ソーシャル・マーケティング マーケティングの広がりについて企業における事例と関連付けて理解する。 マーケティングの広がりに関する課題を発見し，その解決方法を考える。 マーケティングの広がりについて自ら学び，主体的かつ協働的に取り組む。	知識 技術		定期考查等
				課題やレポート
				授業での活動
		思考 判断 表現		定期考查等
				課題やレポート
				授業での活動
				振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート
				授業での活動
				振り返りシート等
第 3 学期	観点別 評価	知識・技術 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○
	評価 規 準	・マーケティングの広がりについて企業における事例と関連付けて理解している。	・マーケティングの広がりに関する課題を発見し，それを踏まえ，科学的な根拠に基づいて対応策を考えている。	・マーケティングの広がりについて自ら学び，主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3 年	学科	商業科	類型	経済系				
教科	商業	科目	商品開発と流通			単位	2	必修 選択	選択
使用教科書		商品開発と流通 (実教出版)		補助教材等		商品開発と流通 準拠問題集 (実教出版)			
科目の目標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、商品開発と流通に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 また、商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。							
観点別評価		観点	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		重点	◎		○		○		
		評価規準	商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解し、商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識と、流通の立場から捉えた取引対象としての商品に関する知識を身に付けている。		商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり、提案したりしている。		自ら商品開発と流通について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、商品開発と流通に関する学習活動に責任をもって取り組もうとしている。		
期間	学習指導計画 (学習内容とそのねらい)					観点別評価			
						観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考查 まで	Introduction 1なぜ商品開発と流通は行われるのか？ 2なぜ『商品開発と流通』を学ぶのか？ ・日常生活を送るために、商品は必要不可欠なものであり、それを入手するためには流通も重要であることを理解する。 1章 商品開発と流通の概要 1 私たちの生活と商品 2 商品開発の意義と手順 3 商品と流通との関わり ・商品の成り立ちおよびその捉え方について理解する。 商品開発の意義、新商品の捉え方、商品ライフサイクルについて理解する。					知識 技術	定期考查等		
							授業での活動		
							実技テスト等		
							振り返りシート等		
						思考 判断 表現	定期考查等		
							授業での活動		
							実技テスト等		
							振り返りシート等		
主体的に 学習に 取り組む 態度	課題やレポート								
	授業での活動								
	振り返りシート等								
	作品や課題								
第 1 学期 期末 考查 まで	2章 商品の企画 1 環境分析と意思決定の準備 2 市場調査 3 商品コンセプトの策定 4 商品企画の提案 ・商品の企画に必要な環境分析について、企業における事例と関連付けて理解する。 ・商品開発の方針を策定し、標的市場を整理して開発する商品テーマを決定することを理解する。 ・環境分析に基づいて、市場調査を行い、そこから商品の企画に関する課題を発見する。					知識・ 技術	定期考查等		
							授業での活動		
							実技テスト等		
							振り返りシート等		
						思考 判断 表現	定期考查等		
							授業での活動		
							実技テスト等		
							振り返りシート等		
主体的に 学習に 取り組む 態度	課題やレポート								
	授業での活動								
	振り返りシート等								
	作品や課題								
第 1 学期	観点別 評価	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		◎		○		○			
	評価規準	・商品開発と流通が一連のものであることを理解している。 ・現代市場における商品開発と流通の概要について理解している。 ・商品ライフサイクルおよび S T P について理解している。		・商品開発の手順とともに、学習計画が立てられている。 ・商品と流通との関わりについて、具体的な事例と関連付けながら、思考できる。 ・市場調査から商品の企画に関する課題を発見できる。		・商品の企画について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、商品の企画に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ・プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現しようとしている。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 期末 考査 まで	3章 事業計画の立案 1 事業計画の概要 2 価格計画 3 流通計画 4 プロモーション計画 5 事業計画書の作成 ・商品開発と流通における事業計画について、その目的や手順について理解する。 ・競争環境や需要予測等に基づいた、価格の設定の考え方を理解する。 ・さまざまな価格政策について、企業における事例と関連付けて考察する。	知識 技術		定期考査等	
				授業での活動	
				実技テスト等	
				振り返りシート等	
		思考 判断 表現		定期考査等	
				授業での活動	
				実技テスト等	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				作品や課題	
第2学期 期末 考査 まで	4章 商品の開発 1 商品仕様と詳細設計 2 プロトタイプ 3 商品とデザイン ・商品仕様と詳細設計について、企業における事例と関連付けて理解する。 ・プロトタイプを用いたテスト及び評価により、課題を書きらかにすることを理解する。 実習 パッケージをデザインする 実習 ポスターをデザインする 4 ブランド 5 知的財産権の登録	知識 ・ 技術		定期考査等	
				授業での活動	
				実技テスト等	
				振り返りシート等	
		思考 判断 表現		定期考査等	
				授業での活動	
				実技テスト等	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				作品や課題	
第2学期	観点別 評価	知識・技術		思考・判断・表現	
		◎		○	
		・事業計画の目的に合わせて、一連の流れを理解している。 ・価格の設定方法を理解している。 ・流通チャネルの種類と特徴から、流通計画について理解している。		・企業におけるプロモーション活動の事例を取り上げ、それぞれの特徴を理解している。 ・科学的な根拠に基づいて事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を立案できる。	
		・事業計画の各項目について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を主体的かつ協働的に作成しようとしている。 ・コンピュータを用いて、ポスターデザインを行おうとしている。			
学年 末 考査 まで	5章 商品の販売 1 販売員活動 2 セールスプロモーション ・販売員活動について、プロセス、役割等を理解する。 ・セールスプロモーションについて理解し、企業における具体的な事例と関連付けて分類する。 6章 商品と流通に関わる新たな展開 1 商品開発の新たな展開 2 流通の新たな展開 3 感覚を活かした商品開発・流通 ・顧客ニーズの多様化から、デザイン思考について企業における具体的な事例と関連付けて理解する。 ・流通の新たな展開として情報システムの変化が流通に影響を及ぼしていることを理解する。	知識 技術		定期考査等	
				授業での活動	
				実技テスト等	
				振り返りシート等	
		思考 判断 表現		定期考査等	
				授業での活動	
				実技テスト等	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				作品や課題	
第3学期	観点別 評価	知識・技術		思考・判断・表現	
		◎		○	
		・販売員活動におけるプロセス、役割等を理解している。 ・企業の事例を取り上げ、顧客の購買心理に基づいたセールスプロモーションが行われていることに気付いている。		・企業の事例を取り上げ、顧客の購買心理に基づいたセールスプロモーションが行われていることに気付くことができる。 ・科学的な根拠に基づいて、実習計画を立案し、実施後に課題を見つけ、評価・改善できる。	
		・流通とプロモーションについて、自ら学び、経済や消費者の動向を踏まえて、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3年	学科	商業科	類型	経済系				
教科	商業	科目	ビジネス法規			単位	3	必修 選択	選択
使用教科書		ビジネス法規(実教出版)		補助教材等	ビジネス法規準拠問題集(実教出版)				
科目の目標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通じて、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を育成することを目指す。							
観点別評価		観点	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		重点	◎		○		○		
		評価 規 準	・ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解している。		・法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけている。		・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）					観点別評価			
						観 点	評価の手段		
第1学期 中間 考 査 ま で	第1章 法の概要 1節 ビジネスにおける法の役割 ・ビジネスを適切に行うための法の役割について理解する。 2節 法の体系と解釈・適用 ・法が憲法を最高法規として体系的に存在していること、法の分類及び法の解釈と適用の考え方について理解する。 第2章 権利・義務と財産権 1節 権利・義務とその主体 2節 物と物権・債権 ・権利・義務の概要、権利行使の制限及び物権、債権など財産権の概要について、法規と関連付けて理解する。 3節 知的財産権 ・知的財産の種類とその権利について、法規と関連付けて理解する。 ・知的財産権が侵害されたときの対抗手段について、具体的な事例を用いて、分析し、考察する学習活動に取り組む。	知識 技術	定期 考 査 等	課題 や レ ポ ー ト	授 業 で の 活 動				
		思考 判 断 表 現	定期 考 査 等	課題 や レ ポ ー ト	授 業 で の 活 動	振 り 返 り シ ー ト 等			
		主体的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	定期 考 査 等	課題 や レ ポ ー ト	授 業 で の 活 動	振 り 返 り シ ー ト 等			
第1学期 期 末 考 査 ま で	第3章 財産権の変動 1節 契約 2節 物の売買 3節 物の貸借 ・契約全般について、また雇用契約、売買契約、不動産賃貸契約など企業活動における契約について、法規と関連付けて理解する。 ・契約当事者の権利・義務関係について、企業活動における具体的な事例を用いて、法規と関係付けて理解する。 ・売買契約、不動産賃貸契約など企業活動における契約について扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	知識 ・ 技 術	定期 考 査 等	課題 や レ ポ ー ト	授 業 で の 活 動				
		思考 判 断 表 現	定期 考 査 等	課題 や レ ポ ー ト	授 業 で の 活 動	振 り 返 り シ ー ト 等			
		主体的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	定期 考 査 等	課題 や レ ポ ー ト	授 業 で の 活 動	振 り 返 り シ ー ト 等			
第1学期	観点別 評 価	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		◎		○		○			
	評価 規 準	・ビジネスを適切に行うための法の役割について理解している。 ・権利・義務の概要、権利行使の制限及び財産権の概要について、法規と関連付けて見いだしている。		・法が体系的に存在していること、法の分類及び法の解釈と適用の考え方について、法規に基づく適切に判断している。 ・企業活動に関する契約全般についての課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考案している。		・法規の改正などが行われている現状について、具体的な事例と関連付けて分析し、考察しようとしている。 ・具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第 2 学期 中間 考查まで	第 3 章 財産権の変動 4 節 不法行為 5 節 時効 ・契約当事者の不法行為や時効の各関係について、企業活動における具体的な事例を用いて、法規と関係付けて理解する。 第 4 章 企業活動と法規 1 節 企業活動の主体 2 節 株式会社の特徴と機関 ・株式会社の意義、株主の責任、株式の譲渡、資本と経営の分離及び株式会社の機関とその責任について法規と関連付けて理解する。 3 節 資金調達と金融取引 ・株式と社債の発行、金融機関からの借入及び金融商品取引法の概要について理解する。資金の調達や運用と金融取引の現状・課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 4 節 組織再編と清算・再建	知識 技術		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		思考 判断 表現		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第 2 学期 期末 考查まで	第 5 章 企業責任と法規 1 節 法令遵守と説明責任 ・法令遵守と説明責任・企業統治の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 2 節 労働者の保護 ・労働者の保護の重要性及び日本における労働者の保護に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 3 節 消費者の保護 ・企業活動を展開する際の消費者の保護の重要性及び日本における消費者の保護の重要性及び日本における消費者の保護に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 4 節 情報の保護 ・企業が扱う情報の保護に係る法規の概要について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	知識 ・ 技術		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		思考 判断 表現		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第 2 学期	観点別 評価	知識・技術 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・株式会社について、法規との関連付けで理解している。 ・法令遵守と説明責任の意義と重要性について理解している。 ・労働者、消費者の保護の重要性及び日本における課題について理解している。	・企業活動に関する不法行為や時効の課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考案している。 ・労働者、消費者の保護に関する課題について、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。	・企業活動に係る法規について自ら学び、企業活動に関する諸課題を法的な根拠に基づいて、対応策を考察しようとしている。	
学 年 末 考 査 ま で	第 6 章 紛争の解決と予防 1 節 紛争の解決 2 節 紛争の予防 ・公証制度の概要、和解、調停及び仲裁の目的、手続、効力並びに民事訴訟制度の概要について、法規と関連付けて理解する。 ・企業における紛争の予防と解決に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 ・国際的な紛争は国による法制度の違いが一因になっていることについて理解する。	知識 技術		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
		思考 判断 表現		定期考查等	
				課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
第 3 学期	観点別 評価	知識・技術 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・公証制度の概要並びに民事訴訟制度の概要について理解している。 ・国際的な紛争は国による法制度の違いが一因になっていることについて理解している。	・公証制度の概要、和解、調停及び仲裁の目的、手続、効力並びに民事訴訟制度の概要について、法規と関連付けて理解している。	・企業における紛争の予防と解決に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組もうとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準

／

学年	3 年	学科	商業科	類型	情報系					
教科	商業	科目	財務会計Ⅰ			単位	4	必修 選択	選択	
使用教科書		「新財務会計Ⅰ」 (実教出版)		補助教材等		最新段階式 簿記検定問題集 改訂版 全商1級 会計 (実教出版)				
科目の目標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。								
観点別評価		観点	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		重点	◎		○		○			
		評価 規 準	財務諸表の作成に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけ、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理することができる。		いろいろな処理法や記帳法、財務諸表の作成方法について、なぜ、そのように行うのかなど自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。また、その成果を会計情報の提供という形で適切に表現することができる。		財務会計に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する実践的な態度を身につけている。			
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）					観点別評価				
							観 点	評価の手段		
第1学期 中間 考 査 ま で	第1編 財務会計の基礎 第1章 企業と会計 ・企業会計の意味と役割、基礎的な会計処理について理解させる。 第2章 企業会計制度と会計法規 ・企業会計制度の意味を明らかにし、会計法規の必要性について理解させる。 第2編 貸借対照表 第3章 貸借対照表のあらまし ・貸借対照表の意味と役割を理解させる。 第4章 資産の意味・分類・評価 ・資産の評価の意味と損益計算との関係について理解し、評価基準の種類、内容、特徴等について理解させる。 第5章 流動資産PART1 当座資産 ・当座資産の意味および種類を理解し、貸借対照表の当座資産に関する部分の作成を行う。 第6章 流動資産PART2 棚卸資産・その他の流動資産 ・棚卸資産の意味と種類を理解し、各項目の会計処理を習得させる。					知識 技術	実技テスト等			
							授業での活動			
							振り返りシート等			
							定期考査等			
						思考 判断 表現	実技テスト等			
							課題やレポート			
							授業での活動			
							定期考査等			
						主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等			
							実技テスト等			
							作品や課題			
第1学期 期 末 考 査 ま で	第7章 固定資産PART1 有形固定資産 ・有形固定資産の意味と種類を理解し、取得原価の計算方法を習得させる。 ・リース取引の意味と種類を理解し、各取引の記帳について習熟させる。 第8章 固定資産PART2 無形固定資産 ・無形固定資産の意味と種類を理解し、取得原価の計算方法を習得させる。 第9章 固定資産PART3 投資その他の資産 ・投資その他の資産の意味と種類を理解させる。 第10章 負債の意味と分類 ・負債の意味と分類について、基礎的知識を習得させる。 第11章 流動負債 ・流動負債の各項目の内容を正確に習得させる。 第12章 固定負債 ・固定負債の各項目の内容を正確に習得させる。 第13章 純資産の意味と分類 ・株式会社の株主資本の分類および内容を理解させる。 第14章 資本金 ・株式会社の資本金の意味と計算を習得させる。					知識 ・ 技術	実技テスト等			
							授業での活動			
							振り返りシート等			
							定期考査等			
						思考 判断 表現	実技テスト等			
							課題やレポート			
							授業での活動			
							定期考査等			
						主体的に 学習に取り 組む態度	振り返りシート等			
							実技テスト等			
							作品や課題			
第1学期	観点別 評価	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
		◎		○		○				
	評価 規 準	・会計の意味や機能、会計法規の種類や目的について、正しく理解している。 ・資産・負債の分類の仕方について正しく理解し、適切な会計処理及び貸借対照表を作成できる。		・資産・負債の評価について正しく理解し、分類の仕方について、営業循環基準と1年基準を用いて説明できる。 ・資産及び負債の分類がどのようなものか説明できる。		・財務会計の役割について、自ら進んで実際の事例を調べようとしている。 ・資産・負債の分類や会計処理を正しく理解し、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしている。				

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第 2 学期 中間 考 査 まで	第15章 資本剰余金 ・資本準備金，その他資本剰余金に関する処理を理解させる。 第16章 利益剰余金 ・利益剰余金の意味を明らかにする。 第17章 自己株式 ・自己株式の意味を理解させる。 第18章 新株予約権 ・新株予約権の意味を理解させる。 第19章 貸借対照表の作成 ・貸借対照表作成上の諸原則を明らかにし，その作成方法を習得させる。 第3編 損益計算書 第20章 損益計算書のあらまし ・損益計算書の意味と役割を理解させる。 第21章 損益計算の意味と基準 ・損益計算の意味と計算方法（財産法と損益法）について理解させる。 第22章 売上高 ・売上高の計上基準と、会計処理を理解させる。	知識 技術		実技テスト等	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				定期考査等	
		思考 判断 表現			実技テスト等
					課題やレポート
					授業での活動
					定期考査等
		主体的に 学習に取り 組む態度			振り返りシート等
					実技テスト等
					作品や課題
第 2 学期 期 末 考 査 まで	第23章 売上原価，販売費及び一般管理費 ・売上原価の意味と計算方法を理解させる。 第24章 営業外費用・営業外収益 ・営業外収益・営業外費用の内容を明らかにし，経常損益を理解させる。 第25章 特別利益・特別損失 ・特別利益・特別損失の意味と内容を明らかにし，会計処理を理解させる。 第26章 損益計算書の作成 ・損益計算書作成上の諸原則を明らかにし，その作成方法を習得させる。 第27章 その他の財務諸表 ・株主資本等変動計算書の意味とその作成方法を理解させる。	知識 ・ 技術		実技テスト等	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				定期考査等	
		思考 判断 表現			実技テスト等
					課題やレポート
					授業での活動
					定期考査等
		主体的に 学習に取り 組む態度			振り返りシート等
					実技テスト等
					作品や課題
第 2 学期	観点別 評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
	評価 規 準	・資本金・資本剰余金・利益剰余金・自己株式・新株予約権のそれぞれの意味を理解し、適切な会計処理ができる。 ・株主資本等変動計算書の意味を理解し、その作成ができる。	・貸借対照表を作成するために必要な原則について、説明できる。 ・損益計算書を作成するために必要な原則について、説明できる。	・実際の財務諸表を入手し、どのようなことが記載されているか、自ら進んで調べようとしている。 ・自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	
学 年 末 考 査 まで	第29章 外貨建取引 ・外貨建取引の意味を理解させ、適切な会計処理を習得させる。 第30章 税効果会計 ・税効果会計の意味と役割を理解させる。 第5編 財務諸表の活用 第31章 財務諸表のディスクロージャー ・企業と利害関係者、ディスクロージャーについて理解させる。 第32章 財務諸表分析 ・財務諸表分析の意味・方法を明らかにする。 第33章 連結財務諸表のあらまし ・連結財務諸表の意味や目的を明らかにし、連結財務諸表の概略を理解させる。 発展編 連結財務諸表の作成 第34章 連結財務諸表の作成 ・連結財務諸表の作成手続きを理解させ、連結精算表の作成を習得させる。	知識 技術		実技テスト等	
				授業での活動	
				振り返りシート等	
				定期考査等	
		思考 判断 表現			実技テスト等
					課題やレポート
					授業での活動
					定期考査等
		主体的に 学習に取り 組む態度			振り返りシート等
					実技テスト等
					作品や課題
第 3 学期	観点別 評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
	評価 規 準	・外貨建取引・税効果会計の意味を理解し、適切な会計処理ができる。 ・財務諸表分析の意味と方法について、正しく理解している。 ・親会社と子会社の意味を正しく理解している。	・円換算・為替予約の意味を理解し、円安・円高の影響が実際の企業に与える影響について説明できる。 ・企業会計上の収益・費用と課税所得計算上の益金・損金に興味を持ち、その違いを説明できる。	・自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	

※「◎」特に重視する観点

令和6年度年間学習指導計画及び評価規準

／

学年	3 年	学科	商業科	類型	会計系・総合系				
教科	商業	科目	財務会計Ⅱ			単位	4	必修 選択	選択
使用教科書		「財務会計Ⅱ」 (実教出版)		補助教材等		日商簿記2級 まるっと完全予想問題集 (TAC出版)			
科目の目標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。							
観点別評価		観点	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		重点	◎		○		○		
		評価 規 準	財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。		企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を身につけている。		会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用 に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）					観点別評価			
						観 点	評価の手段		
第1学期 中間 考 査 ま で	第1編 総論 ―財務会計の基本概念と会計基準― 第1章 財務会計の基本概念 ・財務報告の意味とその目的について理解する。 第2章 資産負債アプローチと収益費用アプローチ ・資産負債アプローチと収益費用アプローチの概要を理解する。 第3章 会計基準の国際的統合 ・わが国の会計基準の特徴を整理して、会計基準の国際的統合の流れを理解する。 第2編 各論（1） ―財務会計の実際― 第4章 資産会計 ・資産の評価基準である原価基準と時価基準について整理し、公正価値の意味を理解する。					知識 技術	定期考査等		
							課題やレポート		
							振り返りシート等		
						思考 判断 表現	定期考査等		
							課題やレポート		
							授業での活動		
						主体的に 学習に取 組む態度	授業での活動		
							課題やレポート		
							振り返りシート等		
第1学期 期 末 考 査 ま で	第5章 負債会計 ・負債の意味を明らかにし、金融負債の評価方法について理解する。 第6章 純資産会計 ・株主資本等変動計算書を作成する目的およびその作成方法を理解する。 第7章 損益会計 ・収益の認識について、会計基準と基本的な考え方を知る。 第8章 リース会計 ・オペレーティング・リース取引の会計処理について習熟する。 ・ファイナンス・リース取引の貸手の会計処理について習熟する。 第9章 税効果会計 ・利益、課税所得、益金、損金など法人税の計算の概略を知る。 ・一時差異と繰延税金資産・繰延税金負債について理解する。					知識 ・ 技術	定期考査等		
							課題やレポート		
							振り返りシート等		
						思考 判断 表現	定期考査等		
							課題やレポート		
							授業での活動		
						主体的に 学習に取 組む態度	授業での活動		
							課題やレポート		
							振り返りシート等		
第1学期	観点別 評価	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		◎		○		○			
	評価 規 準	・資産の評価基準や評価方法について理解している。 ・負債の意味と評価、社債や退職給付引当金、資産除去債務に関する計算および記帳法を理解している。 ・純資産の意味と分類について、今日的な意味を理解し、新株予約権などの会計処理を理解している。 ・ファイナンス・リースとオペレーティング・リースそれぞれの取引の特徴を理解し、その取引に合った会計処理方法を理解している。		・資産の評価についての基礎理論を考え、各種資産の評価に当たり、適切に判断できる。 ・負債の評価についての基礎理論を考え、社債や退職給付引当金、資産除去債務などの評価に当たり、適切に判断できる。 ・なぜ税効果会計を行うのか、その理由を考えて処理方法を判断し、仕訳の形に表現できる。		・財務諸表の構成要素など財務会計の基本概念の学習に興味を示し、自ら進んで学習に取り組もうとしている。 ・資産負債アプローチと収益費用アプローチの特徴を理解しようとしている。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第 2 学期 中間 考 査 まで	第 3 編 各論（2） ―企業活動の展開と財務会計― 第 1 0 章 外貨換算会計 ・外貨建取引の意義、為替換算と為替差損益について理解する。 第 1 1 章 キャッシュ・フロー計算書 ・キャッシュ・フロー計算書の意義と必要性について理解する。 4 編 各論（3） ―企業結合の会計― 第 1 2 章 企業結合会計 ・企業結合会計の意味を理解する。 第 1 3 章 連結財務諸表の作成（その 1） ・連結財務諸表を作成する目的と、連結の範囲について理解する。 ・支配獲得日後における連結財務諸表の作成手続きについて理解する。			知識 技術	定期考査等
					課題やレポート
					振り返りシート等
				思考 判断 表現	定期考査等
					課題やレポート
					授業での活動
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動
					課題やレポート
					振り返りシート等
第 2 学期 期 末 考 査 まで	第 1 4 章 連結財務諸表の作成（その 2） ・持分の変動には、支配獲得までの段階取得・支配獲得後の追加取得・子会社株式の一部売却があることを理解する。 第 1 5 章 持分法 ・持分法の意義とその適用対象について理解する。 第 1 6 章 連結税効果会計 ・連結税効果会計の意義を知る。 第 5 編 財務諸表の活用 第 1 7 章 財務諸表の活用 ・有価証券報告書を基礎とした企業グループの現状把握のアウトラインを知る。 ・株主価値や株価指標など株価の判断材料について理解する。			知識 ・ 技術	定期考査等
					課題やレポート
					振り返りシート等
				思考 判断 表現	定期考査等
					課題やレポート
					授業での活動
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動
					課題やレポート
					振り返りシート等
第 2 学期	観点別 評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
		評価規準	・外貨建取引の意味、基本的な会計処理および外貨建項目の決算時の会計処理を理解している。 ・キャッシュ・フロー計算書の作成法である直接法と間接法の違いを理解している。 ・支配獲得日における連結貸借対照表の作成方法と、投資と資本の相殺消去について理解している。 ・連結税効果会計における基本的な会計処理を習得している。	・外貨換算会計についての基礎理論を考え、外貨建取引発生日・決済日・決算日の会計処理について適切に判断できる。 ・企業結合会計についての基礎理論を考え、合併の会計処理について適切に判断できる。 ・連結税効果会計の意味を考え、その会計処理に当たり、適切な判断ができた。 ・有価証券報告書などから企業グループの現状を考え、適切に判断できる。	・外貨換算会計の内容に高い関心を持ち、その記帳法の学習を積極的に進めようとしている。 ・キャッシュ・フロー計算書に高い関心を示し、その作成法の学習を積極的に進めようとしている。 ・連結財務諸表の作成方法に関心を高め、その学習を積極的に進めようとしている。 ・連結税効果会計の意義や会計処理の理解に関心を高め、その学習を積極的に進めようとしている。
学 年 末 考 査 まで	第 6 編 監査と職業会計人 第 1 8 章 監査と職業会計人 ・会社法および金融商品取引法に基づく監査のしくみを知る。 ・財務諸表監査の目的とリスクアプローチについて理解する。 ・監査のプロセスと監査手続き、監査意見と監査報告書について整理する。			知識 技術	定期考査等
					課題やレポート
					振り返りシート等
				思考 判断 表現	定期考査等
					課題やレポート
					授業での活動
				主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動
					課題やレポート
					振り返りシート等
第 3 学期	観点別 評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
		評価規準	・会社法および金融商品取引法に基づく監査についての知識を身につけ、それぞれの特徴を理解している。 ・監査の品質管理、職業会計人の社会的役割と倫理について、それぞれのポイントを習得している。	・財務諸表監査の目的について考え、さらにリスク・アプローチが、なぜ採用されるのかを考え、理由を適切に表現できる。 ・監査の品質管理について考え、さらに職業会計人の社会的役割と倫理について適切に表現できる。	・会社法および金融商品取引法に基づく監査について高い関心を持ち、積極的に学習を進めようとしている。 ・監査の品質管理、職業会計人の社会的役割と倫理について高い関心を持ち、自ら進んで学習しようとしている。

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3 年	学科	商業科	類型	情報系				
教科	商業	科目	原価計算			単位	4	必修 選択	選択
使用教科書		原価計算(実教出版)		補助教材等		最新段階式 簿記検定問題集 改訂版 全商 1 級 原価計算 (実教出版)			
科目の目標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、原価情報の提供と活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。また、原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解すると共に、関連する技術を身につけるようにする。							
観点別評価		観点	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		重点	◎		○		○		
		評価規準	製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、原価計算に基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解している。		各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用などについて、なぜそのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけている。		製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、原価計算から得られる情報を活用する態度を身につけようとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）					観点別評価			
						観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 ま で	第 1 編 原価計算の基礎 第 1 章 原価と原価計算 ・工業簿記は製造業に適用されるものであることを理解させる。 ・工業簿記と原価計算の関係を理解させる。 第 2 章 原価計算のあらまし ・原価要素の性格とその分類について理解させる。 ・原価計算の 4 つの目的について理解させる。 ・原価計算期間について理解させる。 第 3 章 工業簿記～製造業における簿記～ ・工業簿記に特有な勘定科目とそれぞれの記帳方法を理解させる。 ・工業簿記の全体的な構造を理解させる。					知識 技術	定期考査等		
							課題やレポート		
						思考 判断 表現	定期考査等		
							課題やレポート		
							授業での活動		
						振り返りシート等			
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	第 2 編 原価計算の費目別計算 第 4 章 材料費の計算 ・材料費の仕入れと記帳方法、元帳への転記を理解させる。 ・材料の消費単価と消費数量の計算方法について理解させる。 ・予定価格により、消費高を計算することの意味。予定価格を用いた二通りの記帳方法を理解させる。 第 5 章 労務費の計算 ・労務費の分類とその内容を理解させる。 ・予定賃率による消費賃金の計算と記帳方法を理解させる。 第 6 章 経費の計算 ・経費の消費高の計算と記帳方法を理解させる。					知識 ・ 技術	定期考査等		
							課題やレポート		
						思考 判断 表現	定期考査等		
							課題やレポート		
							授業での活動		
						振り返りシート等			
第 1 学期	観点別 評価	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
		◎		○		○			
	評価規準	・製造業の特徴や原価の基本的な内容について理解している。 ・原価要素の性格とその分類について理解している。 ・工業簿記における勘定記入の特徴を理解し、一連の流れを記帳することができる。		・工業簿記と原価計算の関係について理解し、適用される場面を思考・判断することができる。 ・製造直接費と製造間接費の区別の必要性や、製造活動に関わる勘定の特性について考え、表現することができる。		・製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学習しようとする態度が見られる。 ・自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。			

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	第3編 原価の部門別計算と製品別計算 第7章 個別原価計算 ・個別原価計算の仕組みを理解させる。 ・製造間接費の配賦についての概要を理解させる。 ・製造間接費の差異分析を理解させる。 第8章 部門別個別原価計算 ・部門別個別原価計算の必要性を理解させる。 ・部門費配分表、部門費振替票を作成させ、それぞれに基づく仕訳をマスターさせる。 第9章 総合原価計算 ・平均法と先入先出法による月末仕掛品原価の計算をマスターさせる。 ・単純総合原価計算の作成と記帳法を理解させる。	知識 技術		定期考查等	課題やレポート
		思考 判断 表現		定期考查等	課題やレポート
				授業での活動	振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	授業での活動
				振り返りシート等	
第2学期 期末 考查まで	・等級別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と等級別総合原価計算の仕組みを理解させる。 ・組別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と仕組みを理解させる。 第10章 工程別総合原価計算 ・工程別総合原価計算の意味と目的、手続きについて理解させる。 ・工程別総合原価計算表の作成を通して、工程別総合原価計算の仕組みを理解させる。 ・半製品の意味と半製品がある場合の記帳方法について理解させる。 第11章 総合原価計算における減損・仕損じなどの処理 ・減損の意味と、それが発生した場合の処理方法を理解させる。 ・副産物、作業くず、仕損品の意味とそれぞれが発生した場合の記帳方法について理解させる。	知識 ・ 技術		定期考查等	課題やレポート
		思考 判断 表現		定期考查等	課題やレポート
				授業での活動	振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	授業での活動
				振り返りシート等	
第2学期	観点別 評価	知識・技術 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・原価元帳と仕掛品の関係を理解できている。 ・個別原価計算の仕組みを理解し、原価計算表に記入できる。 ・製造間接費の配賦方法について理解し、適切に配賦を行うことができる。	・生産形態の違いから、原価計算の方法が異なることを理解し、それぞれの違いを説明できる。	・自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	
学年 末 考查まで	【第4編】 製品の完成・販売と決算 第12章 製品の完成と販売 ・製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法を理解させる。 第13章 決算と本社・工場間の取引 ・月次決算の意味と年次決算との関連について理解させる。 ・財務諸表の特色を理解させ、製造原価報告書の作成に習熟させる。 【第5編】 標準原価計算の基礎 第14章 第15章 標準原価計算 ・標準原価計算の意義と特色、全体的な流れを理解させる。 【第6編】 直接原価計算の基礎 第16章 第17章 ・CVP分析や損益分岐図表により、関係を理解させる。	知識 技術		定期考查等	課題やレポート
		思考 判断 表現		定期考查等	課題やレポート
				授業での活動	振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	授業での活動
				振り返りシート等	
第3学期	観点別 評価	知識・技術 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・標準原価計算の意義と特色、手続きについて理解できている。 ・標準原価計算により完成品原価や月末仕掛品原価が計算できる。 ・原価標準の設定の目的について理解できている。	・原価差異の算出ができ、その結果から差異の原因について適切に分析することができる。	・自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3 年	学科	商業科	類型	会計系				
教科	商業	科目	管理会計			単位	4	必修 選択	選択
使用教科書	「管理会計」 （実教出版）			補助教材等	日商簿記 2 級 まるっと完全予想問題集 （T A C 出版）				
科目の目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、経営管理に有用な会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。								
観点別評価	観点	知識・技術			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	重点	◎			○		○		
	評価 規 準	管理会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。			会計情報を活用した経営管理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身につけている。		適切な経営管理を行う力の向上を目指して自ら学び、経営管理に有用な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）					観点別評価			
						観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考査 まで	第 1 編 管理会計と経営管理 第 1 章 管理会計の意義と目的 ・財務会計と管理会計の相違点を理解する。 第 2 章 管理会計と原価計算 ・変動費と固定費の意味、管理可能費と管理不可能費を理解する。 第 3 章 標準原価計算 ・仕損が発生する場合の処理や差異分析の方法を理解する。 第 4 章 直接原価計算 ・全部原価計算と直接原価計算による損益計算書の作成方法を理解する。					知識 技術	定期考査等		
							課題やレポート 振り返りシート等		
						思考 判断 表現	定期考査等		
							課題やレポート		
							授業での活動		
						主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動		
							課題やレポート		
							振り返りシート等		
第 1 学期 期 末 考査 まで	第 5 章 直接標準原価計算 ・差異分析の方法、損益計算書の作成方法を理解する。 第 2 編 短期利益計画 第 6 章 短期利益計画と原価予想 ・原価分解の意味とその方法について理解する。 第 7 章 C V P 分析と損益分岐点 ・損益分岐点販売量と損益分岐点売上高の計算について理解する。 第 8 章 感度分析 ・感度分析の進め方を理解する。 第 9 章 最適セールス・ミックスの決定 ・制約条件が一つの場合と複数の場合の最適セールス・ミックスの決定の仕方について理解する。					知識・ 技術	定期考査等		
							課題やレポート		
							振り返りシート等		
						思考 判断 表現	定期考査等		
							課題やレポート		
							授業での活動		
						主体的に 学習に 取り組む 態度	授業での活動		
							課題やレポート		
							振り返りシート等		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技術			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		◎			○		○		
	評価 規 準	・標準原価計算、直接原価計算、直接標準原価計算に関する基本的な知識を身につけている。 ・短期利益計画に関する基本的な知識を身につけている。 ・感度分析の進め方を理解している。 ・いろいろな制約条件下での最適セールス・ミックスの決定にいて理解している。			・修正バーチャルプランの必要性や差異分析について思考・判断し、それを表現する仕方を身につけている。 ・直接原価計算、直接標準原価計算の特徴を理解し、適切に判断・表現している。 ・利益図表を用いて適切に判断して学習を進めることができる。		・管理会計に関する基礎概念を理解し、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。		

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	第3編 企業予算 第10章 企業予算の編成 ・損益予算、財務予算の編成について理解する。 ・見積損益計算書、見積貸借対照表の作成について習熟する。 第11章 予算統制 ・一連の予算実績差異分析の方法について理解する。 第4編 責任会計と業績評価 第12章 組織構造と責任センター ・現代企業の代表的な組織構造と責任センターについて理解する。 第13章 セグメント別業績評価 ・セグメント別業績評価の意義を理解する。	知識 技術			定期考査等
					課題やレポート
					振り返りシート等
		思考 判断 表現			定期考査等
					課題やレポート
					授業での活動
		主体的に 学習に取り 組む態度			授業での活動
					課題やレポート
					振り返りシート等
第2学期 期末 考查まで	第5編 経営意思決定と管理会計 第14章 経営意思決定の意義とタイプ ・経営意思決定の意義を理解し、タイプを説明する。 第15章 関連原価分析 ・関連原価をタイプ別に理解する。 ・代替案の評価について、各種決定問題の例題をとおして理解する。 第16章 設備投資の経済性計算 ・各種の設備投資の経済性計算の方法について、例題をとおして理解する。	知識 ・ 技術			定期考査等
					課題やレポート
					振り返りシート等
		思考 判断 表現			定期考査等
					課題やレポート
					授業での活動
		主体的に 学習に取り 組む態度			授業での活動
					課題やレポート
					振り返りシート等
第2学期	観点別 評価	知識・技術 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・企業予算を統制する場合の基礎的理論について理解している。 ・セグメント別業績評価について理解している。 ・経営意思決定に関する基本的な知識を身につけている。 ・各種の設備投資の経済性計算の方法について理解している。	・なぜ予算編成、予算統制が必要なのかを考え、実際の手続きの中で、適切に判断・表現している。 ・職能別組織や事業部制組織について考え、適切に判断・表現している。 ・事業部の業績評価指標にはどのようなものがあるかを考え、適切に判断している。 ・経営意思決定とはなにか、そのためにはどのような原価概念が必要かを思考し表現している。	各編の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	
学年 末 考查まで	第6編 コストマネジメント 第17章 戦略的コストマネジメントの意義と手法 ・目的とその手法について理解する。 第18章 目標原価計算 ・意義と目的を理解し、原価企画の特徴を説明する。 第19章 活動基準原価計算 ・ABCの発展経緯と基本構造を理解し、例題をとおして習熟する。 第20章 品質原価計算 ・品質原価報告書を作成し、品質原価の分析について理解する。 第21章 ライフサイクル・コストニング ・ライフサイクル・コストニングのステップについて、例題をとおして理解する。	知識 技術			定期考査等
					課題やレポート
					振り返りシート等
		思考 判断 表現			定期考査等
					課題やレポート
					授業での活動
		主体的に 学習に取り 組む態度			授業での活動
					課題やレポート
					振り返りシート等
第3学期	観点別 評価	知識・技術 ◎	思考・判断・表現 ○	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	・戦略的コストマネジメントの意義と手法について理解している。 ・活動基準原価計算に関する基本的な理論を理解している。 ・ライフサイクル・コストニングに関する基本的な理論を理解している。	・戦略的コストマネジメントの考え方について思考し、適切に判断・表現している。 ・活動基準原価計算や品質原価計算の考え方にはどのようなものがあるかを思考し、適切に判断・表現している。	本編の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準

／

学年	3 年	学科	商業科	類型	会計系・経済系・総合系			
教科	商業	科目	ソフトウェア活用		単位	4	必修 選択	選択
使用教科書		「ソフトウェア活用」 (実教出版)		補助教材等	全国商業高等学校協会主催 情報処理検定模擬試験問題集 3 級 (実教出版)			
科目の目標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業活動におけるソフトウェアの活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
観点別評価	観点	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	重点	○		◎		○		
	評価 規 準	企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。		企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。		企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 ま で	1 章 企業活動とソフトウェア活用 1 節 ビジネスにおけるソフトウェアの活用 ・ソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する。 2 節 ビジネスにおけるソフトウェアの進化 ・ソフトウェアの進化が、社会の変化に与える影響を考える学習活動により、関連する知識を身に付ける。 2 章 情報通信ネットワークの活用 1 節 情報通信ネットワークの導入と運用 ・ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解する。 2 節 情報資産の保護 ・情報資産を保護するため、ソフトウェアの脆弱性への対応や、無停電電源装置の活用などのリスクを適切に管理する方法について理解する。				知識 技術	実技テスト等		
						授業での活動		
						振り返りシート等		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						実技テスト等		
						課題やレポート		
					主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動		
						定期考査等		
						振り返りシート等		
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	3 章 表計算ソフトウェアの活用 1 節 表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析 ・表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解する。 2 節 表計算ソフトウェアを用いたオペレーションズ・リサーチ ・表計算ソフトウェアを通して、オペレーションズ・リサーチの基礎を理解する。 3 節 手続きの自動化 ・マクロの記録機能を用いて、手続きの自動化の考え方を理解し、基本的な技術を身に付ける。				知識 ・ 技術	実技テスト等		
						授業での活動		
						振り返りシート等		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						実技テスト等		
						課題やレポート		
					主体的に 学習に取り 組む態度	授業での活動		
						定期考査等		
						振り返りシート等		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		○		◎		○		
	評価 規 準	・ソフトウェアの意義と重要性について考え、理解できたか。 ・ネットワーク機器の機能や情報技術の進歩に伴う通信手段の変化について理解している。 ・情報通信ネットワークのシステム障害に対処するための基本的な技術について理解している。		・ソフトウェアの意義と社会課題について、様々な社会活動と関連付けてみだせる。		・ソフトウェアの役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとしている。 ・ソフトウェアとビジネスや社会課題との関連について自ら学び、適切に活用し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		

期間		学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
					観 点	評価の手段
第2学期 中間 考査 まで	4章 データベースソフトウェアの活用 1節 ビジネスとデータベース ・データベースの特徴や基本的な機能を理解する。 2節 データベースの作成と操作 ・データベースソフトウェアを活用するための知識と技術について理解する。 3節 手続きの自動化 ・フォームを用い、手続きを登録する方法を理解する。 4節 データベースの構造 ・データベースの構造を理解する。また表を正規化するための手順を理解する。	知識 技術			実技テスト等	
					授業での活動	
					振り返りシート等	
					定期考査等	
		思考 判断 表現			実技テスト等	
					課題やレポート	
					授業での活動	
					定期考査等	
		主体的に 学習に取り 組む態度			振り返りシート等	
					実技テスト等	
					作品や課題	
第2学期 期末 考査 まで	5節 SQLの操作 ・SQLを用いた汎用的なデータベースの操作方法について理解する。 5章 業務処理用ソフトウェアの活用 1節 グループウェアの活用 ・グループウェアを活用することの利点と、グループウェアを活用して効率的に業務を行う方法について理解する。 2節 販売管理ソフトウェアの活用 ・販売管理ソフトウェアと販売管理ソフトウェアを活用して効率的に業務を行う方法について理解する。 3節 給与計算ソフトウェアの活用 ・給与計算ソフトウェアと給与計算ソフトウェアを活用して効率的に業務を行う方法について理解する。	知識 ・ 技術			実技テスト等	
					授業での活動	
					振り返りシート等	
					定期考査等	
		思考 判断 表現			実技テスト等	
					課題やレポート	
					授業での活動	
					定期考査等	
		主体的に 学習に取り 組む態度			振り返りシート等	
					実技テスト等	
					作品や課題	
第2学期	観点別 評価	知識・技術		思考・判断・表現		
		○		◎		
		○		◎		
		評価 規 準	・データベースソフトウェアの 実践的活用のための知識と技術 を身に付けている。 ・マクロに関する知識と技術を 身に付けている。		・データベースの表やデータ構 造など基本的な知識を理解し、 必要に応じた表の正規化がで きる知識や思考を身に付けてい る。 ・データベースを適切に操作す る技術を身に付けている。	
学年 末 考査 まで	6章 情報システムの開発 1節 システム開発の基礎 ・情報システムの開発に関する基礎的な知識、技術について実務に即して理解する。 ・表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアによる情報システムの開発と関連付けて理解を深める。 2節 アルゴリズムの基礎 ・アルゴリズムについての基礎的な技術や、プログラミングに必要な関連する知識、技術を身に付ける。 3節 情報システムの開発演習 ・情報システムの開発を通して、企業活動の改善を科学的な根拠に基づいて、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付ける。	知識 技術			実技テスト等	
					授業での活動	
					振り返りシート等	
					定期考査等	
		思考 判断 表現			実技テスト等	
					課題やレポート	
					授業での活動	
					定期考査等	
		主体的に 学習に取り 組む態度			振り返りシート等	
					実技テスト等	
					作品や課題	
第3学期	観点別 評価	知識・技術		思考・判断・表現		
		○		◎		
		◎		◎		
		評価 規 準	・アルゴリズムの各種基礎的な 考え方を理解している。 ・表計算ソフトウェアとデータ ベースソフトウェアの連携処理 を理解し、情報システムに組み 込む技術を身に付けている。		・システム開発モデルについ て、各手法の趣旨やメリット、 デメリットを理解し、適切な手 法を選択することができる。 ・アルゴリズムを表現するため の流れ図について、問題解決 のためにその技術を利用するこ とができる。	
第3学期	評価 規 準	・企業活動が抱える課題を現状 分析し、プログラミング機能 を利用して、主体的かつ協働 的に取り組もうとしている。				

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準

学年	3 年	学科	商業科	類型	情報系			
教科	商業	科目	ネットワーク活用		単位	2	必修 選択	選択
使用教科書		ネットワーク活用 (実教出版)		補助教材等				
科目の目標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。						
観点別評価		観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		重点	◎	○	○			
		評価 規 準	ネットワークの活用方法について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。	ネットワークの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動に有用なネットワークの活用とWebページの作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 ま で	1 章 情報通信技術の進歩とビジネス 1 節 ICTにより創造される新しいビジネス ・ICTの進歩とその活用方法について理解するとともに、関連する技術・システムの活用例を理解させる。 2 節 個人情報と知的財産の保護 ・個人情報を利用する際の課題について、企業活動の改善と関連づけて理解させる。 3 節 関連法規とガイドライン ・情報セキュリティや電子商取引に関する法律について理解させる。				知識 技術	定期考査等		
						課題やレポート		
					思考 判 断 表 現	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	2 章 情報コンテンツの作成 1 節 図形と静止画 ・図形や静止画に関する操作方法を理解するとともに、関連する活用例を理解させる。 2 節 音声と動画 ・音声や動画に関する操作方法を理解させるとともに、関連する活用例を理解させる。				知識 ・ 技術	定期考査等		
						課題やレポート		
					思考 判 断 表 現	定期考査等		
						課題やレポート		
						授業での活動		
第 1 学期	観点別 評 価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		◎	○	○				
	評 価 規 準	・ICTの活用方法について理解するとともに、関連する技術・システムの活用例を理解している。	・印象に残る図形や動画の表現方法について、図形や動画の作成を通して考えている。	・個人情報の取り扱いに関する法律について自ら学び、課題を解決する方法に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。				

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	3章 企業情報の発信とWebデザイン 1節 Webページの制作とデザイン ・Webページデザインの基礎を理解するとともに、印象に残るWebページ制作について理解させる。 2節 Webページ制作の基礎 ・Webページを作成するための言語について理解するとともに、関連する活用例を理解させる。 3節 Webページ制作の応用 ・CMSの利用方法や構築方法について理解させる。			知識 技術	定期考查等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考查等
					課題やレポート
					授業での活動
				主体的に 学習に取り 組む態度	定期考查等
					授業での活動
					振り返りシート等
第2学期 期末 考查まで	4章 インターネットと情報セキュリティ 1節 インターネットのしくみ ・インターネットの基礎やその応用方法について理解するとともに、プロバイダの役割について理解させる。 2節 ハードウェアとソフトウェアの導入 ・ハードウェアやソフトウェアの種類やその活用方法について理解させる。 3節 情報セキュリティの確保 ・情報セキュリティの必要性を理解するとともに、関連するセキュリティ対策の活用例を理解させる。			知識 ・ 技術	定期考查等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考查等
					課題やレポート
					授業での活動
				主体的に 学習に取り 組む態度	定期考查等
					授業での活動
					振り返りシート等
第2学期	観点別 評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
	評価 規 準	・インターネットのしくみについて理解するとともに、関連する技術・システムの活用例を理解している。	・印象に残るWebページの制作方法について、Webページの制作を通して考えている。	・情報セキュリティについて自ら学び、企業活動に有用なWebページの制作に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。	
学年 末 考查まで	5商 電子商取引とビジネス 1節 ネットワークを用いたビジネスと電子決済 ・電子商取引の概要について理解するとともに、電子決済のしくみとその活用方法について理解させる。 2節 電子商取引サイトの開店準備 ・電子商取引を効率的に行うための調査方法について理解させる。 3節 Webページの制作と集客方法 ・電子商取引に関するWebページの作成方法について理解するとともに、購買意欲を抱かせる表現方法について理解させる。 4節 ビジネスの創造 ・インターネットを活用した新しいビジネスについて理解させる。			知識 技術	定期考查等
					課題やレポート
				思考 判断 表現	定期考查等
					課題やレポート
					授業での活動
				主体的に 学習に取り 組む態度	定期考查等
					授業での活動
					振り返りシート等
第3学期	観点別 評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		◎	○	○	
	評価 規 準	・インターネットを活用したビジネスについて理解するとともに、関連する技術・システムの活用例を理解している。	・電子商取引を行うためのWebページの制作方法について、Webページの制作を通して考えている。	・電子商取引について自ら学び、企業活動に有用なWebページの制作に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。	

※「◎」特に重視する観点

令和 6 年度 年間学習指導計画及び評価規準



学年	3 年	学科	商業科	類型	情報系			
教科	商業	科目	ネットワーク管理		単位	2	必修 選択	選択
使用教科書		「ネットワーク管理」 (実教出版)		補助教材等				
科目の目標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報資産を共有し保護する環境の提供に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
観点別評価		観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		重点	○	◎	○			
		評価 規 準	情報資産を共有し、保護する環境の提供について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	情報資産を共有し、保護する環境の提供に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報資産を共有し、保護する環境の提供に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			
期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）				観点別評価			
					観 点	評価の手段		
第 1 学期 中間 考 査 ま で	1 章 企業活動と情報通信ネットワーク 1 節 情報資産の共有の重要性 ・情報通信ネットワークを活用してビジネスに関する情報やハードウェアなどの情報資産を共有することの重要性を理解する。 ・企業活動と情報通信ネットワークの関わりにおいて、情報資産を共有し保護する適切な環境を提供する活動について理解する。 2 節 情報通信ネットワークの形態と通信 ・情報共有の重要性について、情報通信ネットワークを構築し、情報資産を共有して企業活動を展開している具体的な事例と関連付けて理解する。				知識 技術	定期考査等		
						課題やレポート		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						課題やレポート 授業での活動 振り返りシート等		
第 1 学期 期 末 考 査 ま で	2 章 情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理 1 節 情報通信ネットワークの設計方法 ・情報通信ネットワークに対する要求を分析し、ネットワークの構成、運用計画の策定など、情報通信ネットワークを設計する基礎的な方法について理解する。 2 節 情報通信ネットワークのしくみと通信方法 ・LANやインターネットの仕組み、LANのアクセス制御の方法や特徴及び代表的な通信プロトコルの概要について理解する。 3 節 ネットワーク機器 ・ネットワークインタフェースの機能、有線LANや無線LANの接続装置、VLAN機能によるネットワークの切り分けを理解する。また、インターネット接続におけるアドレス変換技術の種類と機能について理解する。 4 節 情報通信ネットワークの構築方法 ・情報通信ネットワークの構築に必要なネットワーク機器を導入するためのハードウェアの選定方法や、情報資源を共有するためのソフトウェアの導入や設定方法について理解する。				知識 ・ 技術	定期考査等		
						課題やレポート		
					思考 判断 表現	定期考査等		
						課題やレポート 授業での活動 振り返りシート等		
第 1 学期	観点別 評価	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		○	◎	○				
	評価 規 準	情報資産の共有において、その効果的な活用が企業活動の改善につながることを理解している。	情報資産を共有することの重要性について認識し、企業活動と関連付けて考えることができる。	情報資産の共有と情報の保護に関する意義と課題について、知識と技術の習得に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。				

期間	学習指導計画（学習内容とそのねらい）			観点別評価	
				観 点	評価の手段
第2学期 中間 考查まで	2章 情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理 5節 情報通信ネットワークの運用と障害対策 ・管理ツールやセキュリティポリシーによるネットワーク管理やユーザー管理などの運用管理の技法を習得する。また、サーバのパフォーマンス管理やバックアップの設定方法について理解する。 6節 システム監査 ・客観的な立場でシステム監査を行うことの重要性や具体的なシステム監査の実施手順や監査技法について理解する。	知識 技術		定期考查等	課題やレポート
		思考 判断 表現		定期考查等	課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
第2学期 期末 考查まで	3章 情報セキュリティ 1節 情報セキュリティ管理の目的と重要性 ・情報資産に対する脅威やリスクをしっかりと理解し、情報セキュリティ管理の目的と重要性について理解する。また、情報セキュリティに対する各種法規や組織の対応について理解する。 2節 人的対策 ・情報セキュリティ啓発活動の重要性、情報セキュリティに対する意識を向上する方策、内部不正や人的ミスによる情報の漏えいを防止する方策など人的対策及び人的要因により情報セキュリティ上の問題が発生した際の対応策について、具体的な事例と関連付けて分析し、理解する。	知識 ・ 技術		定期考查等	課題やレポート
		思考 判断 表現		定期考查等	課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
第2学期	観点別 評価	知識・技術 ○	思考・判断・表現 ◎	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	ネットワークの設計・構築に必要なハードウェア、ソフトウェアについて、実務での活用方法を知識として身につけている。	ネットワークの設計・構築に必要なハードウェア、ソフトウェアの特性を理解でき、セキュリティ管理とシステム監査の重要性を表現できる。	ネットワーク構築や基本的な設計の方法、セキュリティ管理やシステム監査の技法についての習得に、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
学年 末 考查まで	3節 技術的対策 ・アクセス権の設定と管理、ソフトウェアの脆弱性弱性への対策、暗号化や認証などの技法、無線LANに係る情報セキュリティの確保、マルウェアへの感染を予防するソフトウェアを導入し、管理する方法及び技術的対策の実効性を高める方策について理解する。 4節 物理的対策 ・地震、火災、落雷、停電など災害や事故の予防と発生時を想定した対策、機器の故障など物理的障害の予防と情報セキュリティ上の問題の発生を想定した対策、様々な技術を活用した情報を扱う施設における入退室の管理など外部からの侵入の予防と情報セキュリティ上の問題の発生を想定した対策について理解する。	知識 技術		定期考查等	課題やレポート
		思考 判断 表現		定期考查等	課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
		主体的に 学習に取り 組む態度		課題やレポート	課題やレポート
					授業での活動
					振り返りシート等
第3学期	観点別 評価	知識・技術 ○	思考・判断・表現 ◎	主体的に学習に取り組む態度 ○	
	評価 規 準	情報セキュリティ管理について実務に即して理解している。関連する知識と技術の基本的な考え方を理解している。	情報セキュリティ管理における人的対策・技術的対策・物理的対策についての概略を表現できる。	情報セキュリティ管理における人的対策・技術的対策・物理的対策について、主体的かつ協働的に取組もうとしている。	

※「◎」特に重視する観点